

広島県子供の生活に関する
実態調査結果報告書

庄 原 市 編

令和6年7月

目 次

I 調 査 概 要	1
1 調査の目的	1
2 調査実施方法	1
3 集計にあたっての注意点	1
II 子供調査結果	2
1 性別	2
2 学校の授業以外での勉強	2
3 学校の授業以外の1日あたり勉強時間	3
4 クラスの中での成績	4
5 学校の授業がわからないこと	4
6 授業がわからなくなった学年	5
7 将来進学したい学校	5
8 進学したい理由	6
9 学校のクラブ活動への参加状況	7
10 学校のクラブ活動に参加していない理由	7
11 食事の頻度	8
12 就寝時間	8
13 悩みごとの相談相手	9
14 最近の生活の満足度	10
15 子供の心理的な状態	11
16 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大期間中を比べた変化	14
17 新型コロナウイルス感染症の拡大期間中と現在を比べた変化	16
18 逆境体験	18
19 支援の利用状況	19
20 支援の利用による変化	20
21 ヤングケアラーという言葉の認知状況	21
22 ヤングケアラーへの該当状況	21
23 家族の中で世話をしている人の有無	21
24 広島県の子供政策への希望	22

Ⅲ 保護者調査結果	23
1 子供との続柄	23
2 家族構成	23
3 母親・父親の年齢	24
4 単身赴任中の家族	25
5 親の婚姻状況	25
6 離婚相手と子供の養育費の取り決めの有無	26
7 家庭での日本語以外の言語の使用状況	26
8 親の最終学歴	27
9 親の就労状況	29
10 親が就労していない理由	30
11 子供が0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの	31
12 子供が3～5歳の間に通っていた 教育・保育施設等で最も主なもの	31
13 子供との関わり方	32
14 学校との関わり・参加	32
15 子供の将来の進学先	33
16 進学する理由	33
17 頼れる人の有無・相手	34
18 現在の暮らしの状況	36
19 世帯全体のおおよその年間収入	36
20 過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないこと	37
21 過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないこと	37
22 過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったこと	37
23 心理的な状態	38
24 最近の生活の満足度	40
25 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大期間中を比べた変化	41
26 新型コロナウイルス感染症の拡大期間中と現在を比べた変化	42
27 支援の利用状況と利用したことがない理由	43
28 広島県の子供政策への希望	45

I 調査概要

1 調査の目的

広島県では、すべての子供たちが、夢や希望に向かってチャレンジできる県を目指し、現状を把握するとともに、新たな施策や現在取り組んでいる施策の強化の必要性等を確認するため、市町と連携して県内すべての地域の子供たちの生活実態を調査しています。

この調査結果は、「庄原市こども計画」を策定するにあたり、子供の貧困に関する実態を把握するため、広島県より調査票情報の提供を受けて、本市において集計・分析を行った結果です。

2 調査実施方法

調査は、以下の方法により実施しました。

区 分	子供調査（小学生・中学生）	保護者調査
1. 調査目的	広島県では、すべての子供たちが、夢や希望に向かってチャレンジできる県を目指し、現状を把握するとともに、新たな施策や現在取り組んでいる施策の強化の必要性等を確認するため、市町と連携して県内すべての地域の子供たちの生活実態を調査した。	
2. 調査対象	本調査は、市内の小学校・中学校（公立、私立、国立）に通う小学5年生及び中学2年生とその保護者を対象にした。	
3. 調査方法	郵送配布・郵送・WEB回収	
4. 調査期間	令和5年6月～12月	
5. 回収状況	回収数 215 (小学5年生 150、中学2年生 65)	回収数 217 (小学5年生 149、中学2年生 68)

※広島県全体の回収状況

調査対象区分		配布数（票）	有効回収数（票）	有効回収率（%）
小学5年生	生徒	3,645	2,927	80.3
	保護者	3,645	2,957	81.1
中学2年生	生徒	3,228	2,495	77.3
	保護者	3,228	2,500	77.4

3 集計にあたっての注意点

グラフ中に表示している「n=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

算出されたパーセントは、小数点第二位を四捨五入して、小数点第一位までを表示としているため、その合計は必ずしも 100.0%にならない場合があります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えています。

数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記しています。

Ⅱ 子供調査結果

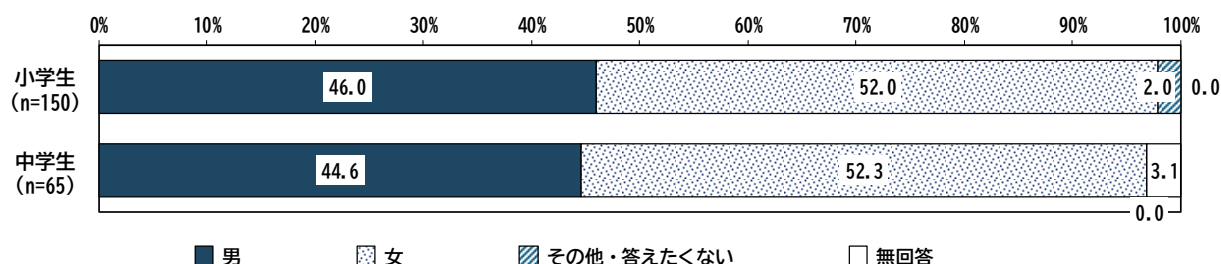
子供調査は、小学5年生（以下、「小学生」という。）、中学2年生（以下、「中学生」という。）の児童生徒を対象にした調査です。

調査結果は、以下のようになっています。

1 性別

小学生では「男」が46.0%、「女」が52.0%、中学生では「男」が44.6%、「女」が52.3%となっています。

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

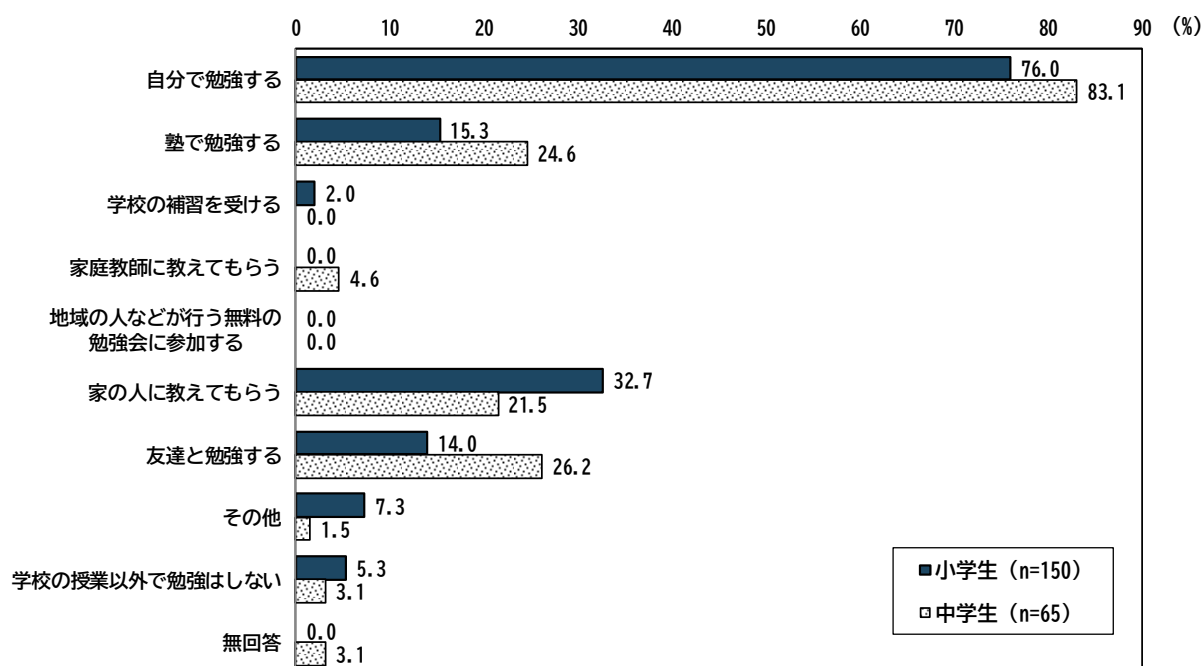


2 学校の授業以外での勉強

「自分で勉強する」が小学生（76.0%）、中学生（83.1%）とも最も多くなっています。次いで小学生では「家の人に教えてもらう」（32.7%）が多くなっています。中学生では「友達と勉強する」（26.2%）、「塾で勉強する」（24.6%）、「家の人に教えてもらう」（21.5%）が2割台で続いています。

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○）



3 学校の授業以外の1日あたり勉強時間

【学校がある日（月～金曜日）】

小学生では「30分以上、1時間より少ない」（45.3％）が最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」（25.3％）となっています。

中学生では「1時間以上、2時間より少ない」（44.6％）が最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」（24.6％）となっています。

【学校がない日（土・日曜日・祝日）】

小学生では「30分より少ない」（33.3％）が最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」（30.0％）、
「1時間以上、2時間より少ない」（16.7％）となっています。

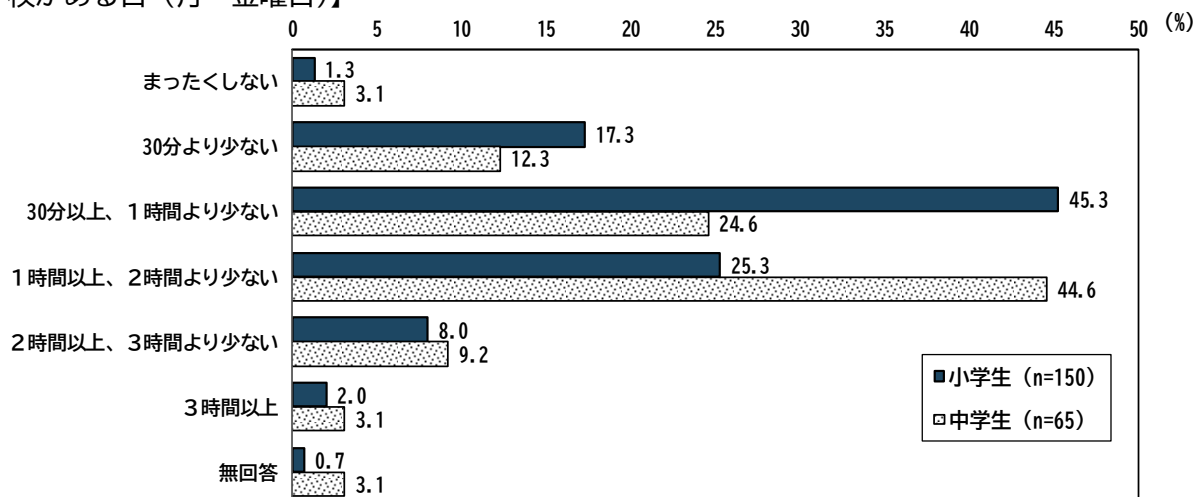
中学生では「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上、2時間より少ない」がともに26.2％と多くなっています。

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

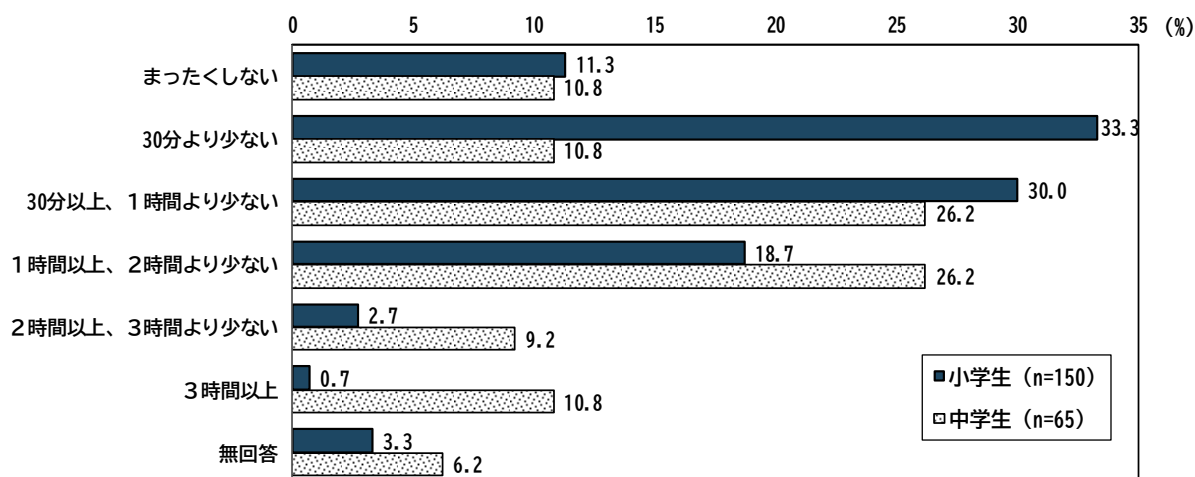
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

（あてはまるもの1つに○）

【学校がある日（月～金曜日）】



【学校がない日（土・日曜日・祝日）】

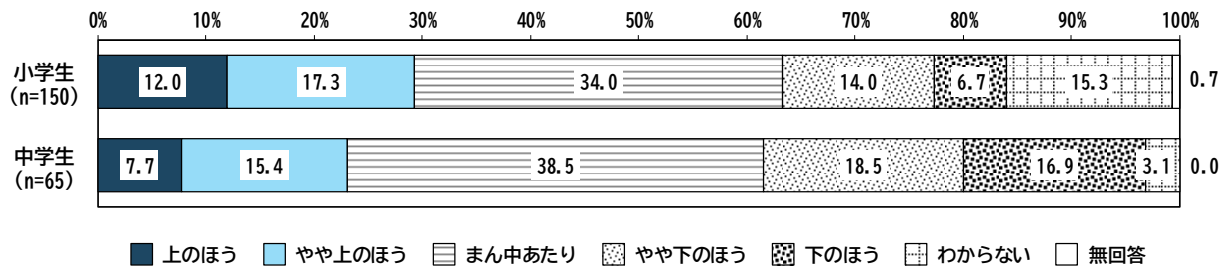


4 クラスの中での成績

小学生では「まん中あたり」が34.0%と最も多く、次いで「やや上のほう」(17.3%)、「やや下のほう」(14.0%)、「上のほう」(12.0%)となっています。

中学生では「まん中あたり」が38.5%と最も多く、次いで「やや下のほう」(18.5%)、「下のほう」(16.9%)、「やや上のほう」(15.4%)となっています。

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

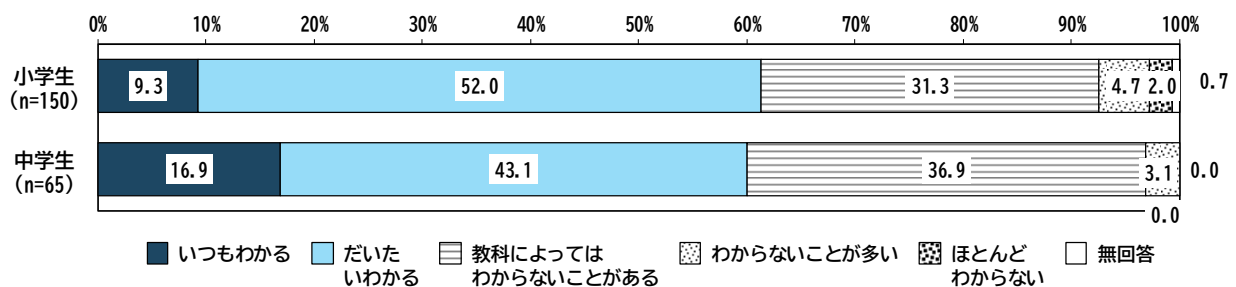


5 学校の授業がわからないこと

小学生では「いつもわかる」(9.3%)と「だいたいわかる」(52.0%)を合わせると6割程度が授業を理解していますが、「教科によってはわからないことがある」が31.3%と少なくありません。

中学生では「いつもわかる」(16.9%)と「だいたいわかる」(43.1%)を合わせた割合は6割が授業を理解していますが、「教科によってはわからないことがある」が36.9%と少なくありません。

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)



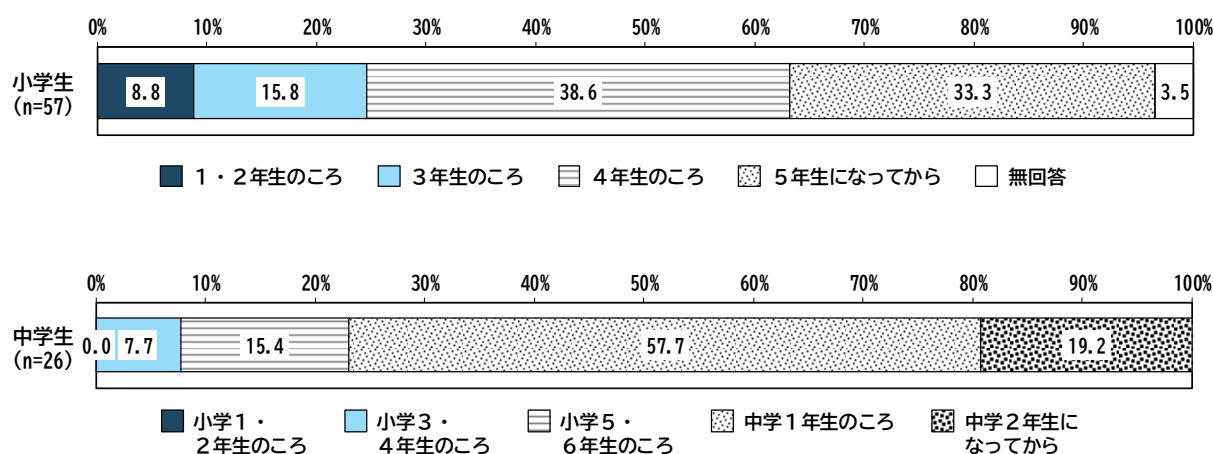
6 授業がわからなくなった学年

小学生では「4年生ごろ」が38.6%と最も多く、次いで「5年生になってから」(33.3%)、「3年生ごろ」(15.8%)となっており、高学年になるとわからない人が多くなっています。

中学生では「中学1年生ごろ」が57.7%と圧倒的な多く、小学校から中学校に上がるときにわからなくなる人が多くなっています。

問6 前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

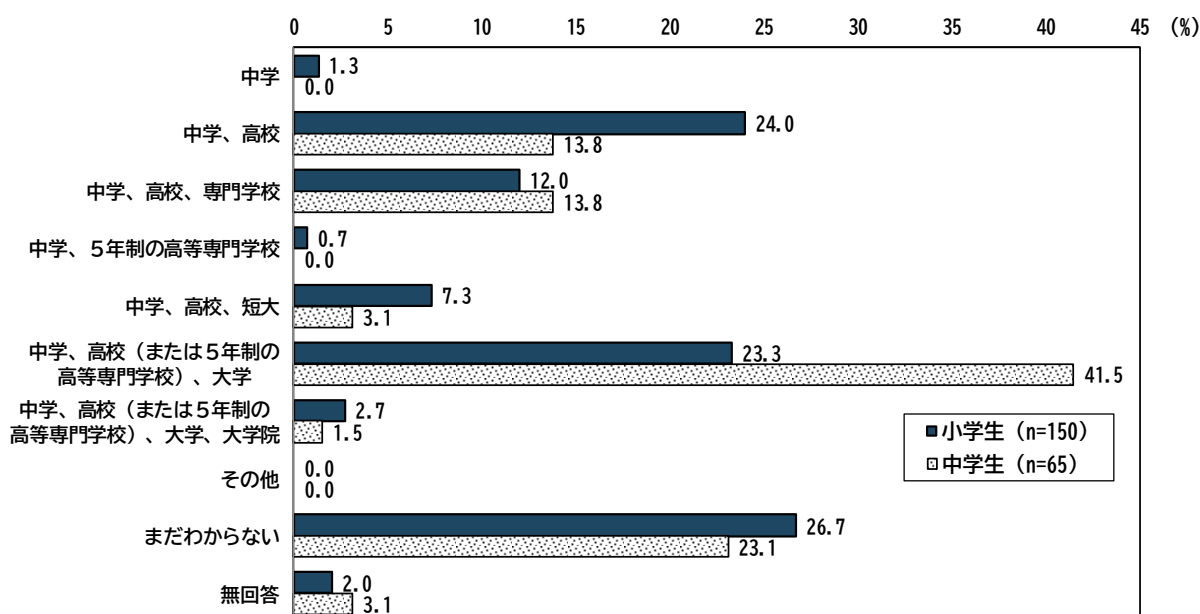


7 将来進学したい学校

小学生では「中学、高校」(24.0%)と「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(23.3%)が多くなっていますが、中学生では「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(41.5%)が最も多くなっています。

また、「まだわからない」とする人も小学生で26.7%、中学生で23.1%と多くなっています。

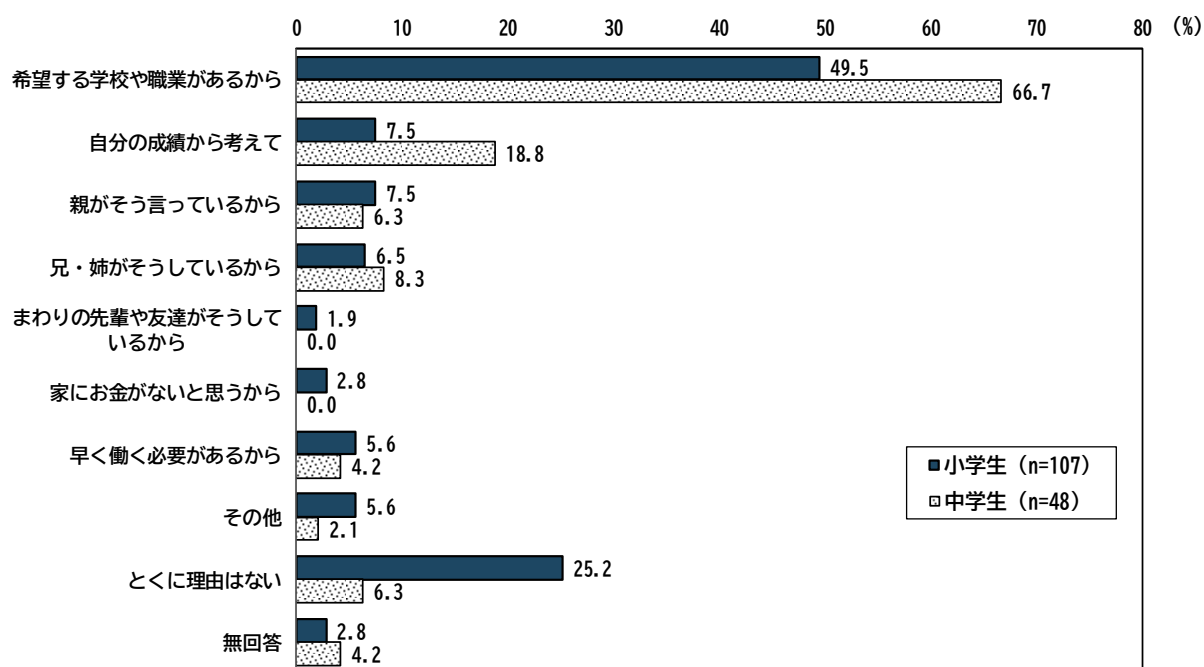
問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)



8 進学したい理由

「希望する学校や職業があるから」が、小学生（49.5%）、中学生（66.7%）とも最も多くなっています。次いで小学生では「とくに理由はない」（25.2%）、中学生では「自分の成績から考えて」（18.8%）となっています。

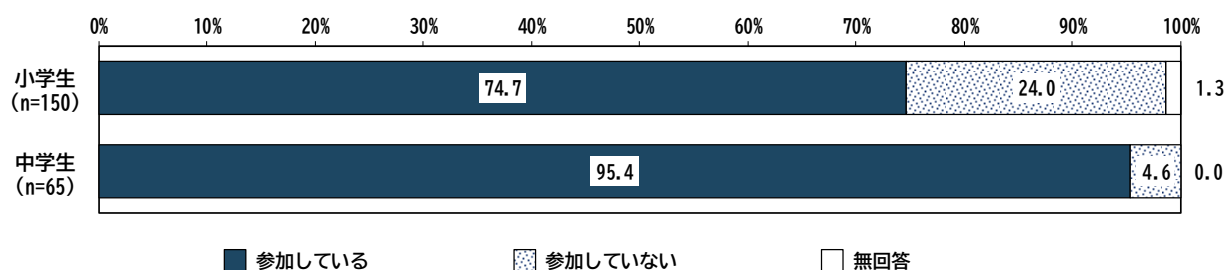
問8 前の質問で「まだわからない」以外を答えた場合、その理由を教えてください。
（あてはまるものすべてに○）



9 学校のクラブ活動への参加状況

「参加している」は、小学生で 74.7%、中学生で 95.4%となっています。

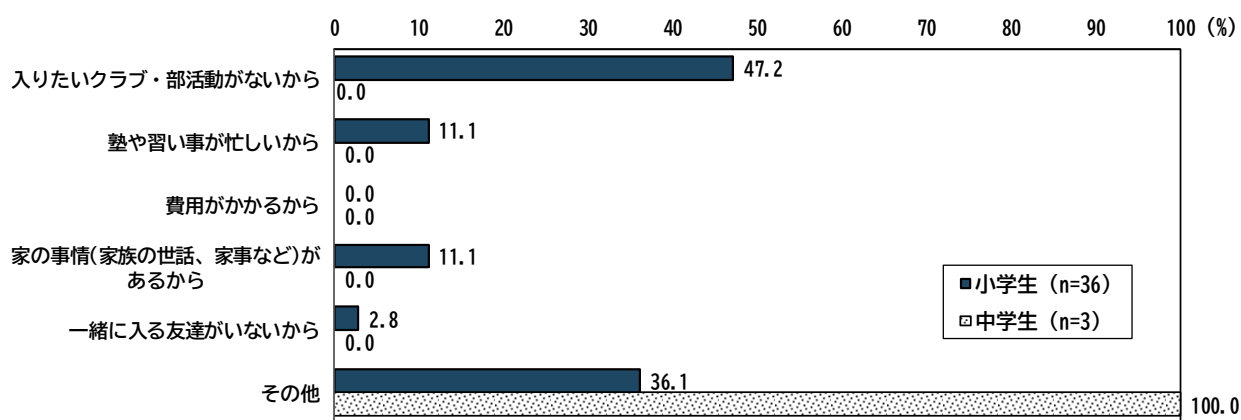
問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校のクラブ活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)



10 学校のクラブ活動に参加していない理由

「入りたいクラブ・部活動がないから」が、小学生（47.2%）が最も多くなっています。

問10 前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

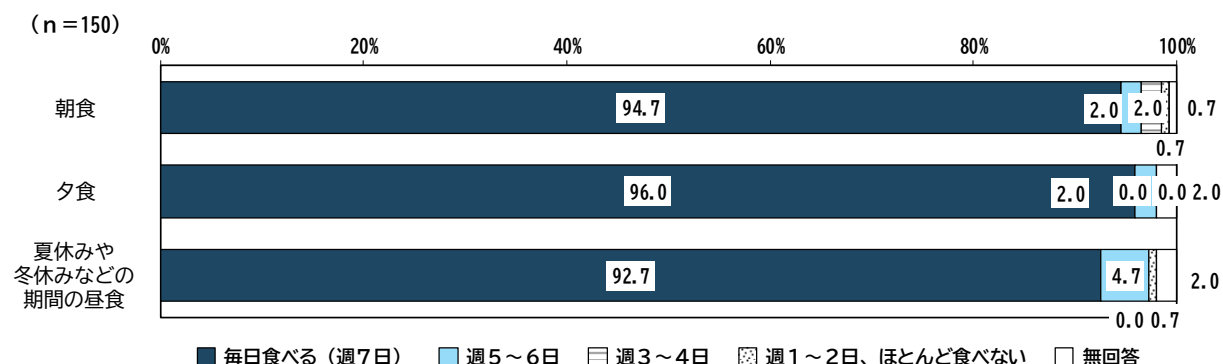


11 食事の頻度

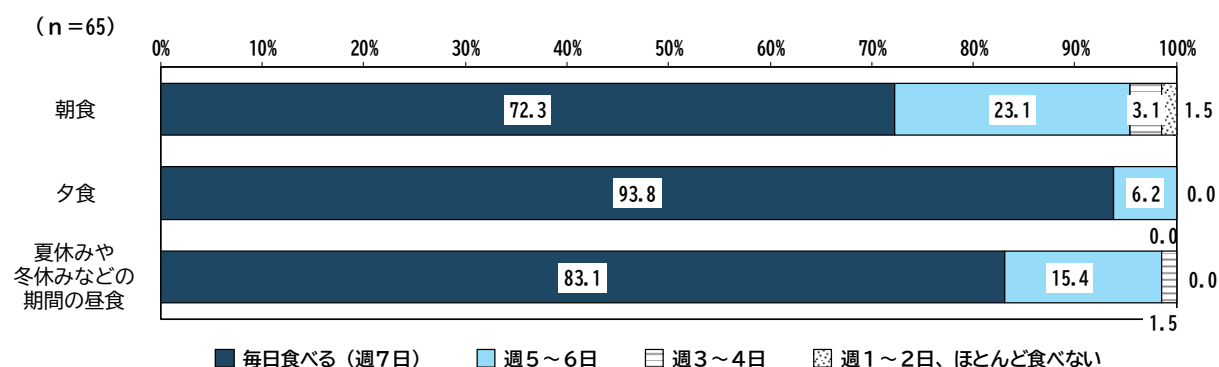
小学生では、中学生とも「毎日食べる（週7日）」もしくは「週5～6日」で、ほとんどの人が朝食、夕食、夏休みや冬休みなどの期間の昼食をしています。ただ、中学生の朝食では「毎日食べる（週7日）」が72.3%と少なくなっています。

問 11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

【小学生】



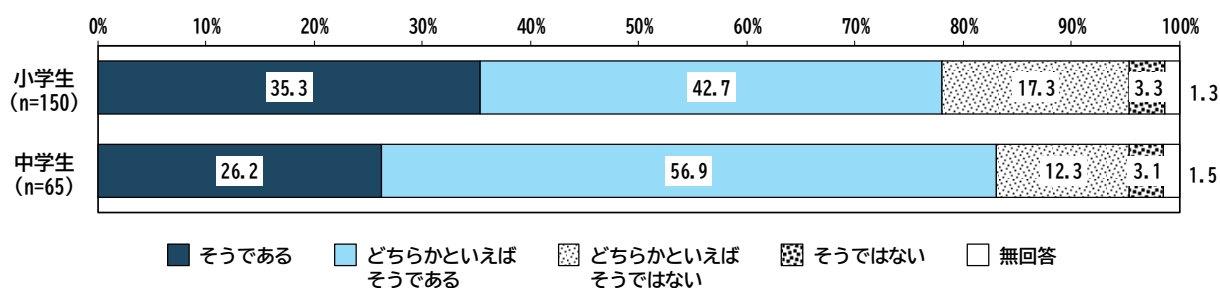
【中学生】



12 就寝時間

小学生、中学生とも「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせると8割前後がほぼ同じ時間に寝ていますが、「どちらかといえばそうではない」が小学生で17.3%と中学生（12.3%）よりも多くなっています。

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（あてはまるもの1つに○）

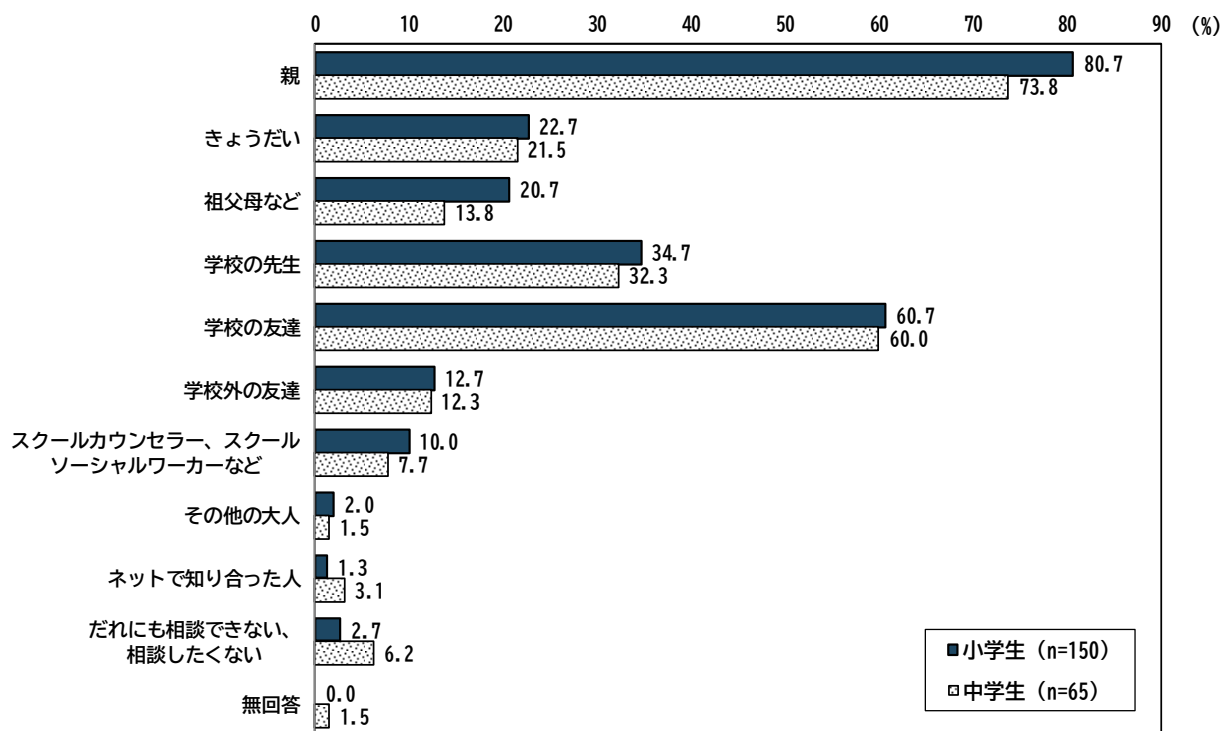


13 悩みごとの相談相手

小学生、中学生とも「親」（小学生 80.7%、中学生 73.8%）が最も多く、次いで「学校の友達」（小学生 60.7%、中学生 60.0%）、「学校の先生」（小学生 34.7%、中学生 32.3%）となっています。

また、「だれにも相談できない、相談したくない」が、小学生で 2.7%、中学生で 6.2%とみられます。

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
(あてはまるものすべてに○)



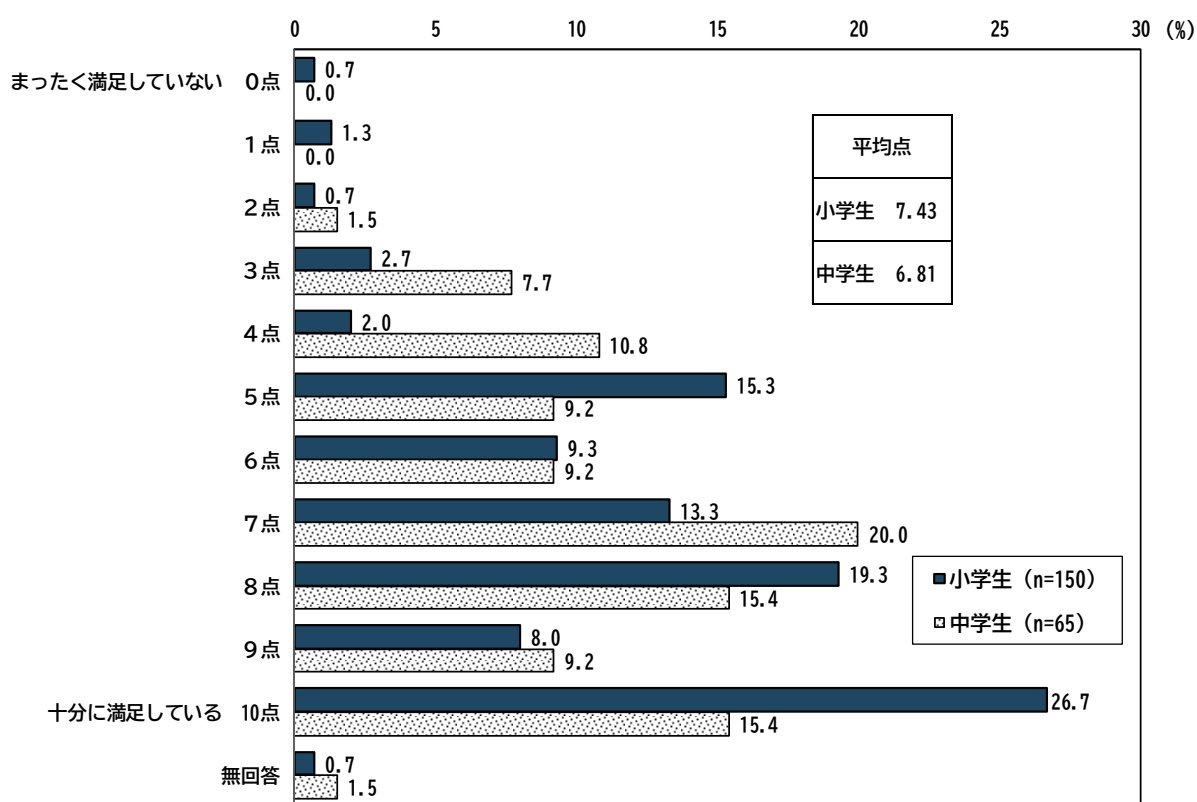
14 最近の生活の満足度

小学生では「十分に満足している 10点」が26.7%と最も多く、次いで「8点」(19.3%)、「5点」(15.3%)、「7点」(13.3%)となっており、その平均点は7.43点となり、広島県平均7.82点を下回っています。

中学生では「7点」が20.0%と最も多く、次いで「8点」と「十分に満足している 10点」が各15.4%となっており、その平均点は6.81点となり、広島県平均7.10点を下回っています。

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

(あてはまるもの1つに○)



15 子供の心理的な状態

《小学生、中学生とも『あてはまる』が80%以上の項目》

- a)私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える（小学生 94.0%：中学生 92.4%）
- f)私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける（小学生 92.7%：中学生 93.8%）
- g)私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる（小学生 92.0%：中学生 92.3%）
- i)私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている（小学生 85.4%：中学生 80.0%）
- k)私は、年下の子供たちに対してやさしくしている（小学生 91.3%：中学生 90.7%）
- m)私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）（小学生 84.6%：中学生 80.0%）

《小学生、中学生とも『あてはまる』が30%以下の項目》

- d)私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける（小学生 20.0%：中学生 26.2%）
- l)私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする（小学生 18.0%：中学生 9.2%）

《小学生の方が中学生よりも『あてはまる』が5ポイント以上上回る項目》

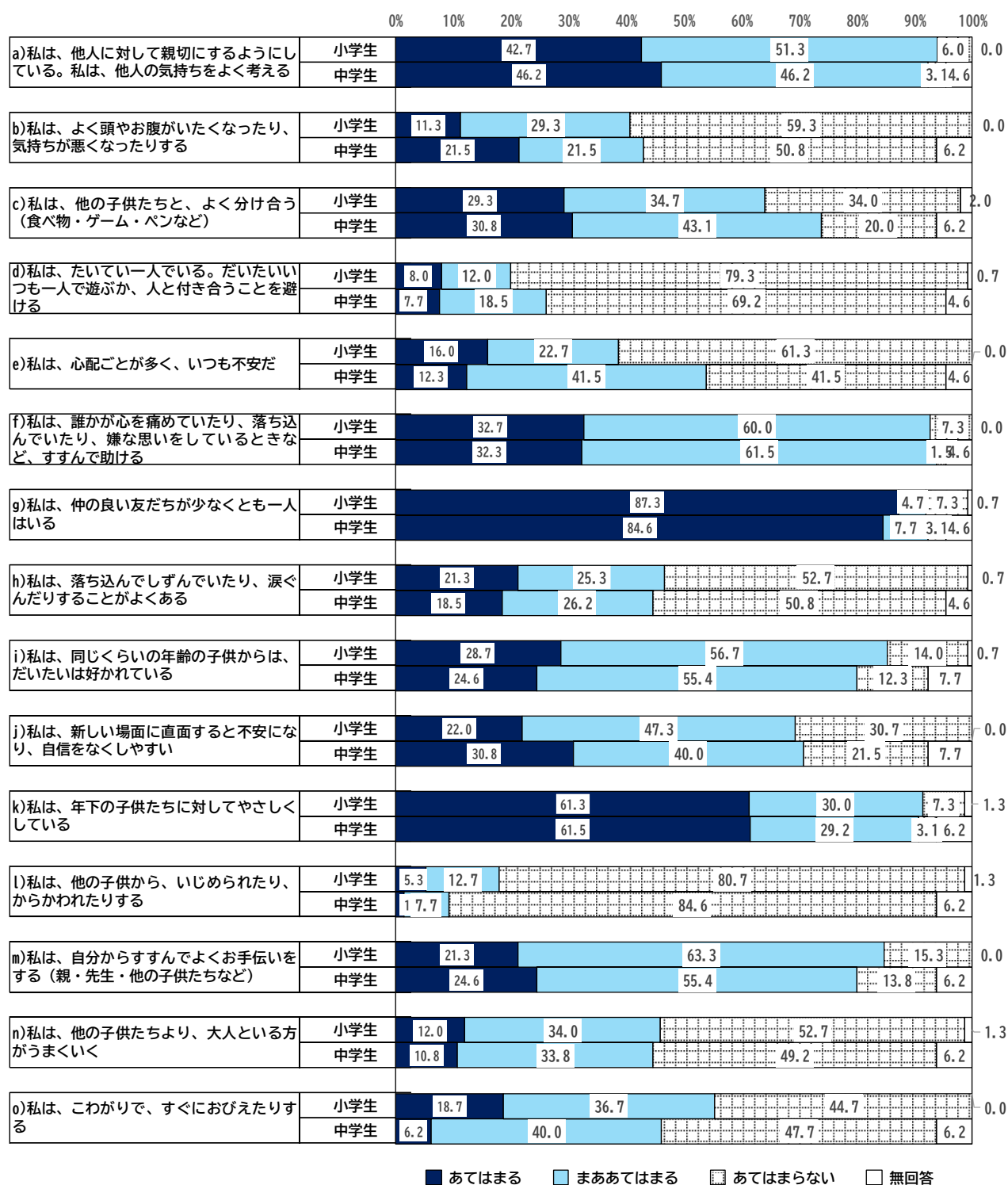
- o)私は、こわがりで、すぐにおびえたりする（小学生 55.4%：中学生 46.2%）
- l)私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする（小学生 18.0%：中学生 9.2%）
- i)私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている（小学生 85.4%：中学生 80.0%）

《中学生の方が小学生よりも『あてはまる』が10ポイント以上上回る項目》

- e)私は、心配ごとが多く、いつも不安だ（小学生 38.7%：中学生 53.8%）
- c)私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）（小学生 64.0%：中学生 73.9%）
- d)私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける（小学生 20.0%：中学生 26.2%）

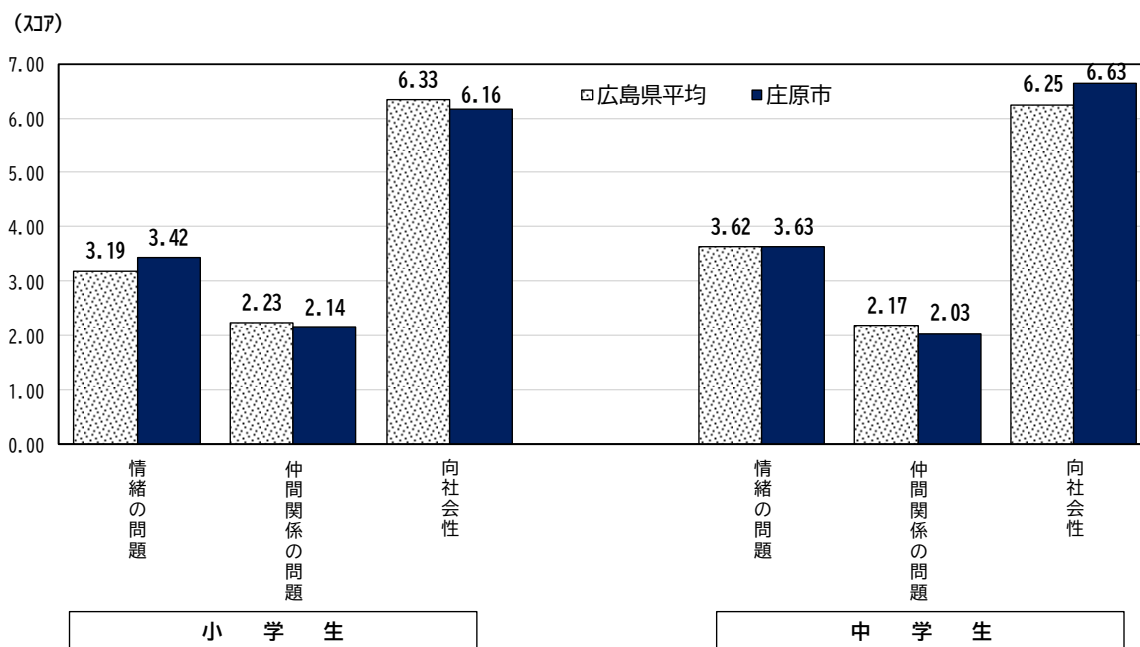
※『あてはまる』＝「あてはまる」＋「まあまああてはまる」

問 15 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)



情緒の問題の平均スコアとしては、小学生が3.42、中学生が3.63となっています。
 仲間関係の問題の平均スコアとしては、小学生が2.23、中学生が2.03となっています。
 向社会性の平均スコアとしては、小学生が6.16、中学生が6.63となっています。

■ 子供の心理的状态 ■



《広島県子供の生活に関する実態調査報告書 令和6年3月より》(P170)

＝ 情緒の問題 ＝

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

＝ 仲間関係の問題 ＝

- d. 私は、たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。
- l. 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

＝ 向社会性 ＝

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子供たちなど）。

※上記のカテゴリー番号をスコアとして、合計値を算出しスコアとする。ただし、gとiは逆転項目としてスコアを算出。

16 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大期間中を比べた変化

小学生、中学生それぞれについて、新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大期間中を比べて増加したこと、減少したことのトップ5は以下のようになっています。

【小学生】

■ 増加したもの トップ5 ■

- m)家族で家で過ごす時間……………51.3%
- f)親以外の大人や友達と話をすること……………29.3%
- e)夜遅くまで起きている回数……………24.7%
- h)イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと……………22.7%
- b)学校の授業がわからないと感じること……………21.3%

■ 減少したもの トップ5 ■

- i)家族で外食する回数……………61.3%
- j)家族で旅行する回数……………56.7%
- l)屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など） 54.0%
- k)野外レジャーに行く回数……………53.3%
- g)親以外の大人や友達の素顔を見ること……………44.7%

【中学生】

■ 増加したもの トップ5 ■

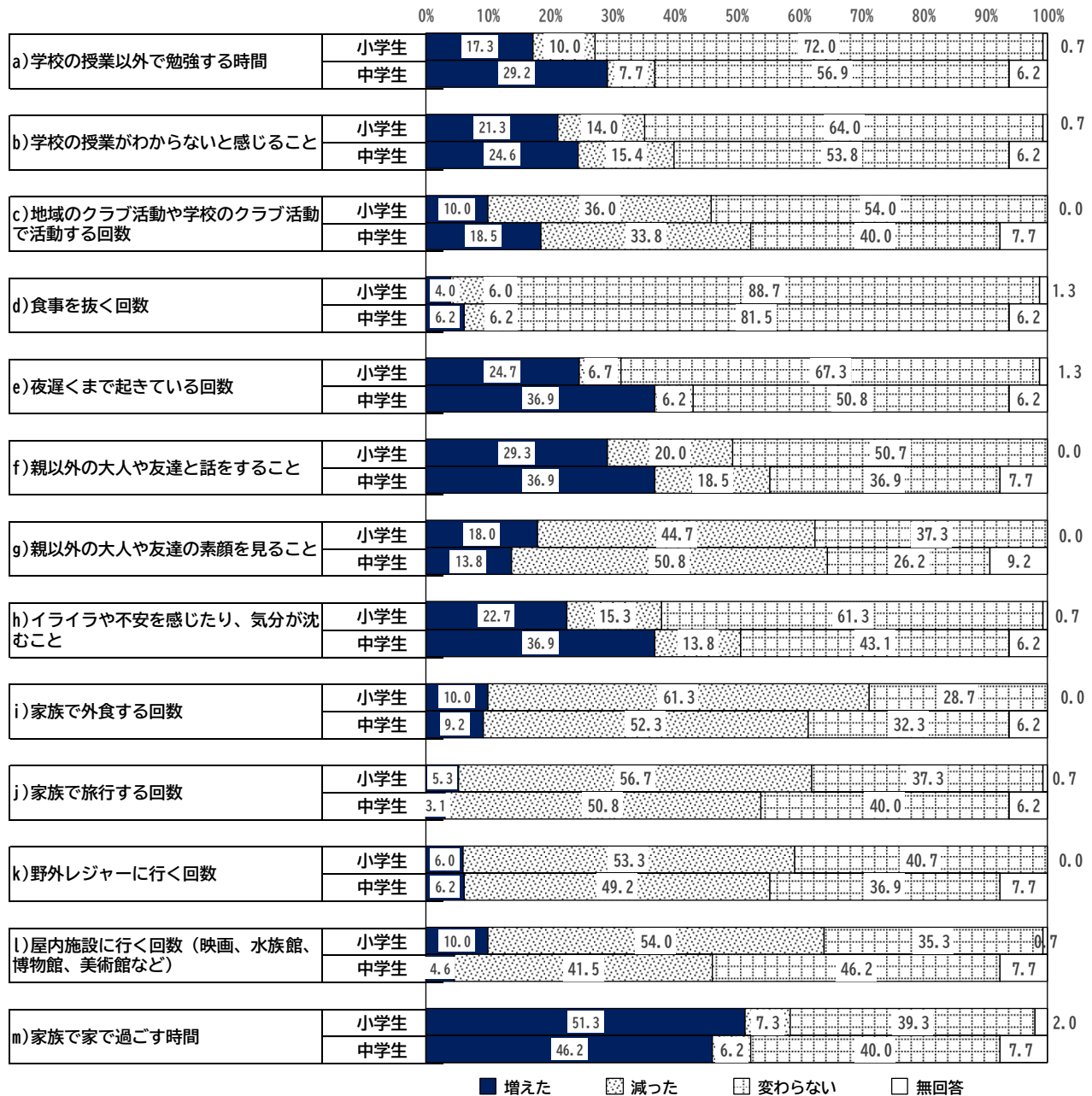
- m)家族で家で過ごす時間……………46.2%
- e)夜遅くまで起きている回数……………36.9%
- f)親以外の大人や友達と話をすること……………36.9%
- h)イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと……………36.9%
- a)学校の授業以外で勉強する時間……………29.2%

■ 減少したもの トップ5 ■

- i)家族で外食する回数……………52.3%
- g)親以外の大人や友達の素顔を見ること……………50.8%
- j)家族で旅行する回数……………50.8%
- k)野外レジャーに行く回数……………49.2%
- l)屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など） 41.5%

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学1年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

※中学生：拡大する前（小学4年生の時）、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から中学1年生の時）



17 新型コロナウイルス感染症の拡大期間中と現在を比べた変化

小学生、中学生それぞれについて、新型コロナウイルス感染症の拡大期間中と現在を比べて増加したこと、減少したことのトップ5は以下のようになっています。

【小学生】

■ 増加したもの トップ5 ■

- f)親以外の大人や友達と話をすること……………44.0%
- g)親以外の大人や友達の素顔を見ること……………44.0%
- m)家族で家で過ごす時間……………34.7%
- i)家族で外食する回数……………32.7%
- l)屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）28.7%

■ 減少したもの トップ5 ■

- j)家族で旅行する回数……………26.7%
- i)家族で外食する回数……………26.0%
- l)屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）24.7%
- k)野外レジャーに行く回数……………22.7%
- h)イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと……………18.0%

【中学生】

■ 増加したもの トップ5 ■

- c)地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数……………47.7%
- g)親以外の大人や友達の素顔を見ること……………41.5%
- f)親以外の大人や友達と話をすること……………41.5%
- e)夜遅くまで起きている回数……………32.3%
- a)学校の授業以外で勉強する時間……………32.3%

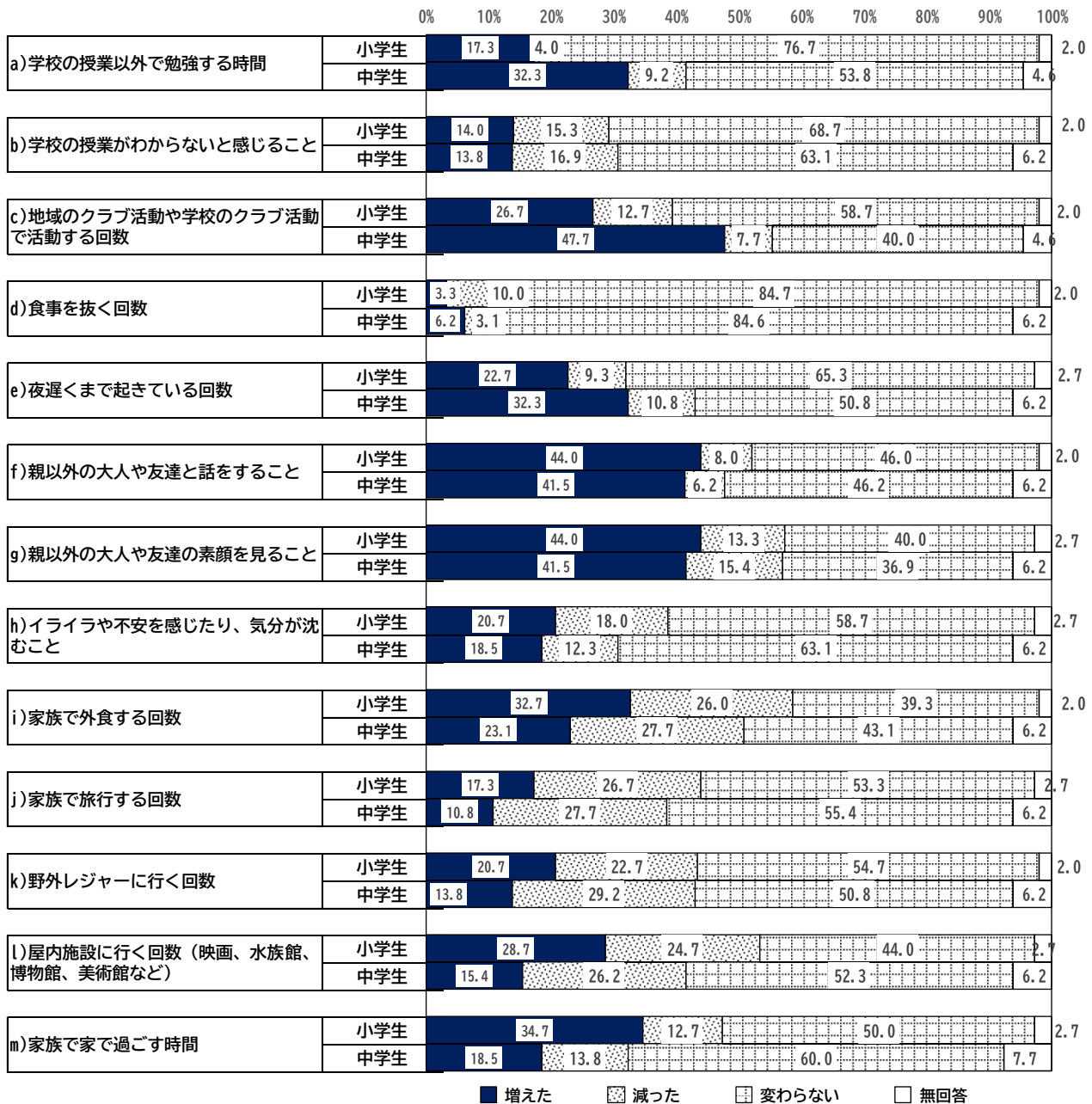
■ 減少したもの トップ5 ■

- k)野外レジャーに行く回数……………29.2%
- i)家族で外食する回数……………27.7%
- j)家族で旅行する回数……………27.7%
- l)屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）26.2%
- b)学校の授業がわからないと感じること……………16.9%

問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染 症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

（a～m それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

※中学生：新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から中学1年生の時）

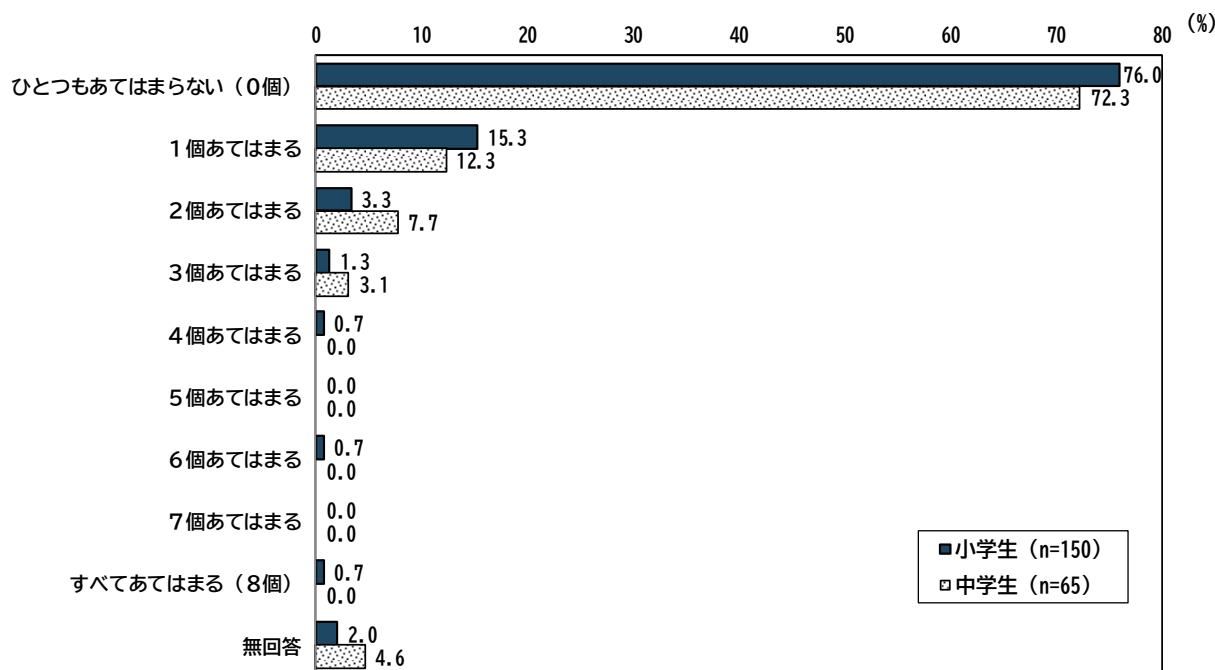


18 逆境体験

逆境体験として下表に示す8項目を提示したが、「ひとつもあてはまらない(0個)」が小学生(76.0%)、中学生(72.3%)とも圧倒的に多くなっています。

また、「1個あてはまる」から「すべてあてはまる(8個)」までを合計した何らかの逆境体験をした割合は、小学生が22.0%、中学生が23.1%となっています。

問 18 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について0～8のどれか1つに○)



【逆境体験の内容】

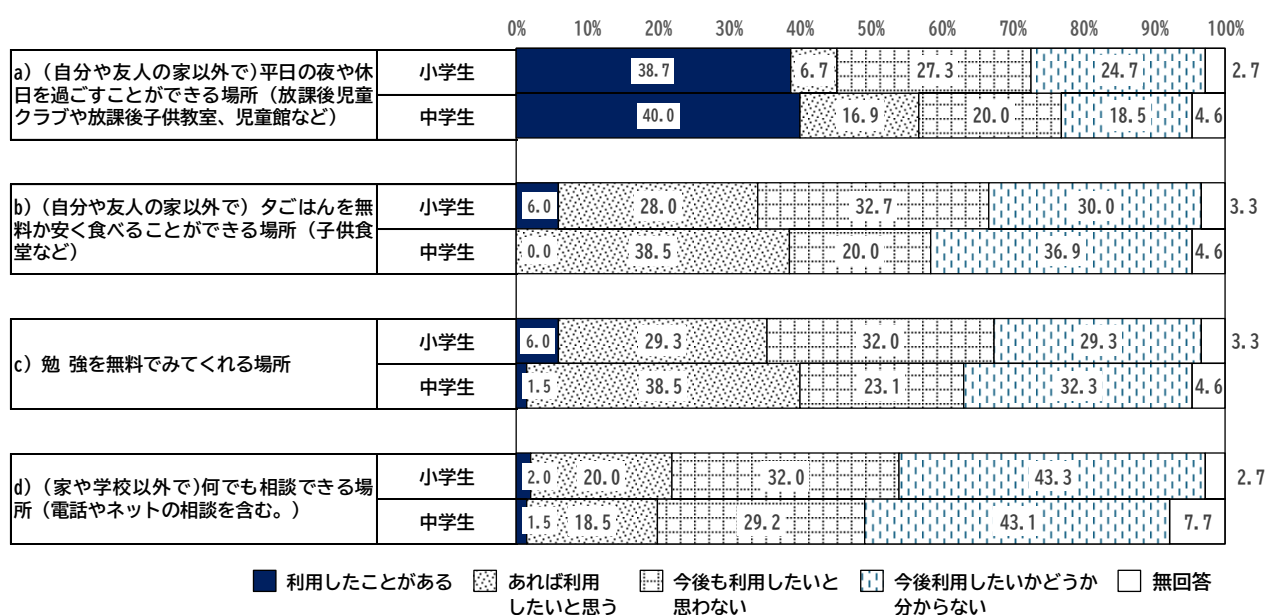
- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからでも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

19 支援の利用状況

『a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後児童クラブや放課後子供教室、児童館など)』で、「利用したことがある」が小学生で 38.7%、中学生で 40.0%と多くなっていますが、その他では1 ケタ台の利用にとどまっています。

ただ、『b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)』、『c) 勉強を無料でみてくれる場所』の今後の利用意向が小学生で3割弱、中学生で4割弱と多くなっています。

問 19 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

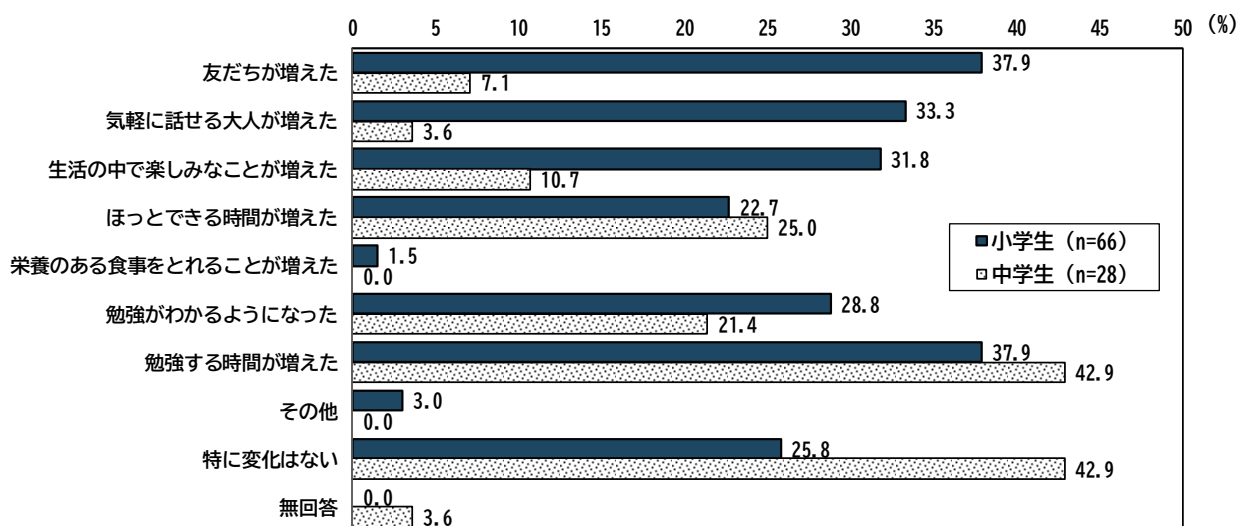


20 支援の利用による変化

小学生では、「友だちが増えた」や「勉強する時間が増えた」が37.9%と最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」(33.3%)、「生活の中で楽しいことが増えた」(31.8%)、「勉強がわかるようになった」(28.8%)、「ほっとできる時間が増えた」(22.7%)となっており、多くの面で場所の利用効果がみられます。

中学生では、「勉強する時間が増えた」が42.9%と最も多く、次いで「ほっとできる時間が増えた」(25.0%)、「勉強がわかるようになった」(21.4%)などの効果が多くなっていますが、「特に変化はない」が42.9%（小学生25.8%）となっており、小学生に比べると効果は小さくなっています。

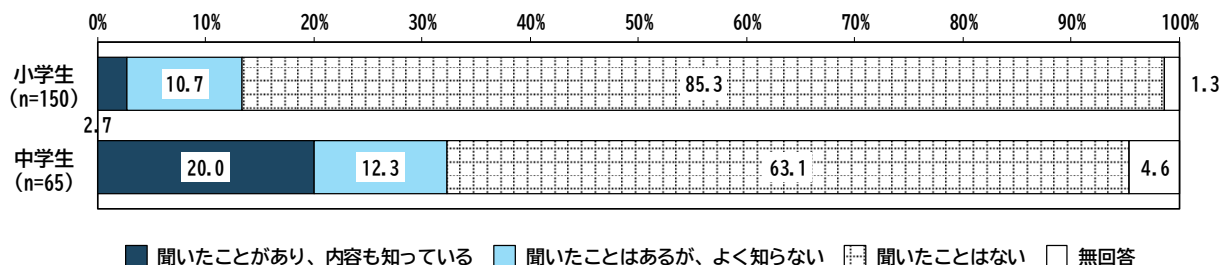
問 20 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）



21 ヤングケアラーという言葉の認知状況

「聞いたことがあり、内容も知っている」は、小学生では2.7%ですが、中学生では20.0%と多くなっています。

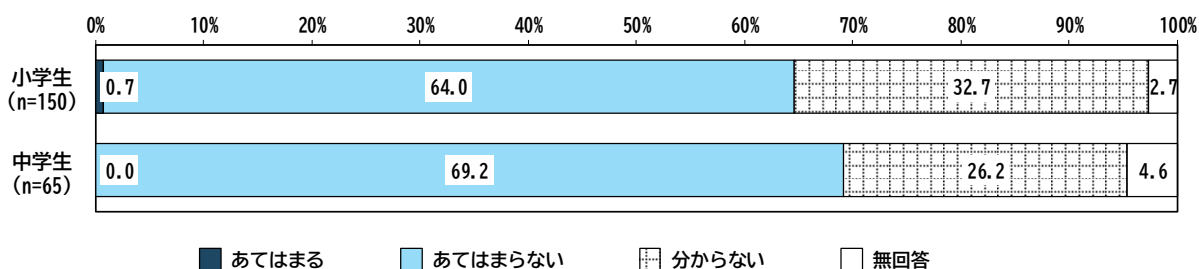
問 21 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)



22 ヤングケアラーへの該当状況

「あてはまる」は小学生で0.7%、中学生でひとりもいません。

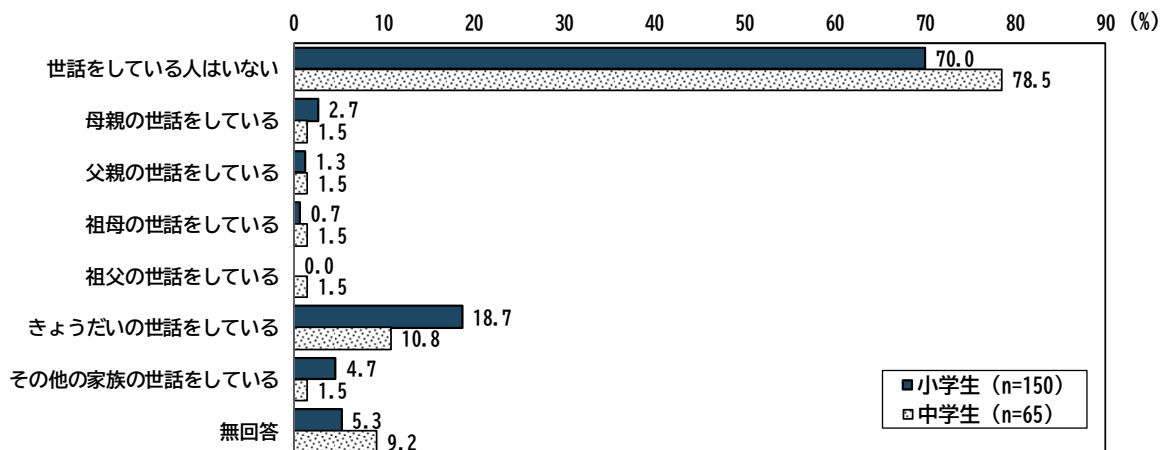
問 22 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(あてはまるもの1つに○)



23 家族の中で世話をしている人の有無

小学生、中学生とも「世話をしている人はいない」が最も多くなっていますが、「きょうだいの世話をしている」が小学生で18.7%、中学生で10.8%みられます。

問 23 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



24 広島県の子供政策への希望

小学生、中学生が希望する具体的な政策のトップ5は以下のようになっています。

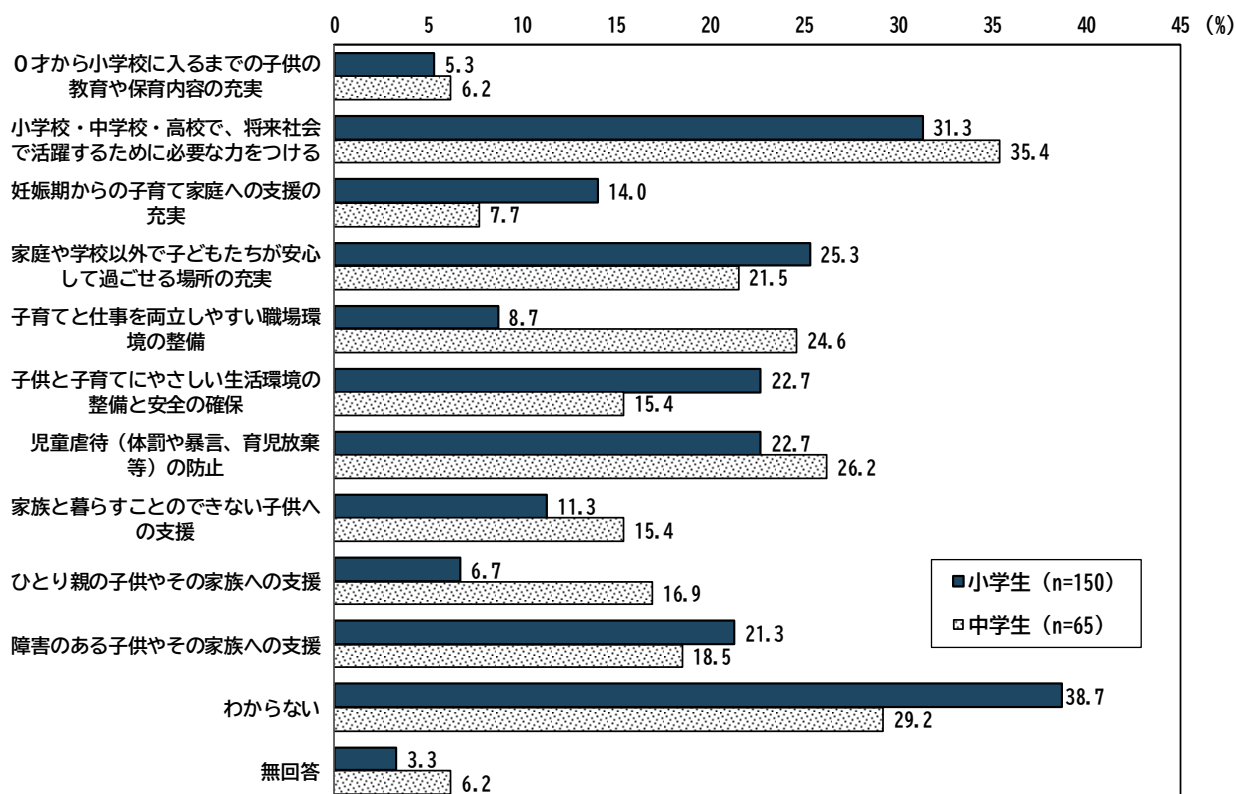
【小学生のトップ5】

- 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける …… 31.3%
- 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実 …… 25.3%
- 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保 …… 22.7%
- 児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止 …… 22.7%
- 障害のある子供やその家族への支援 …… 21.3%

【中学生のトップ5】

- 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける …… 35.4%
- 児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止 …… 26.2%
- 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備 …… 24.6%
- 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実 …… 21.5%
- 障害のある子供やその家族への支援 …… 18.5%

問 24 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。
(あてはまるもの上位3つまでに○)



Ⅲ 保護者調査結果

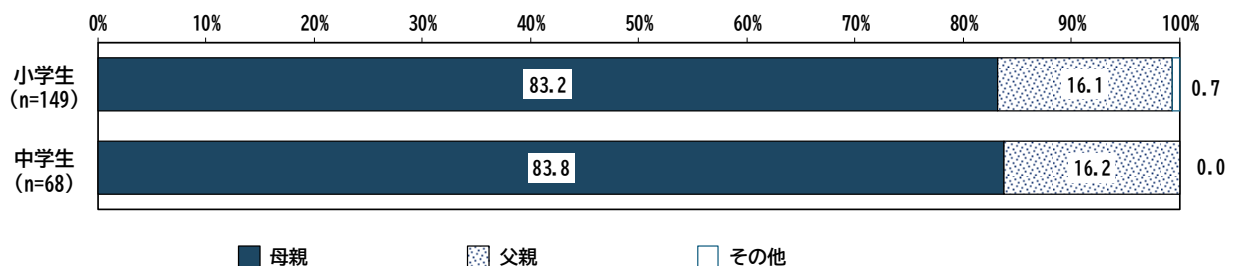
保護者調査は、小学5年生の保護者（以下、「小学生」という。）、中学2年生の保護者（以下、「中学生」という。）を対象にした調査です。

調査結果は、以下のようになっています。

1 子供との続柄

回答者の子供との関係は、小学生では「母親」が83.2%、「父親」が16.1%、中学生では「母親」が83.8%、「父親」が16.2%となっています。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれに当たりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

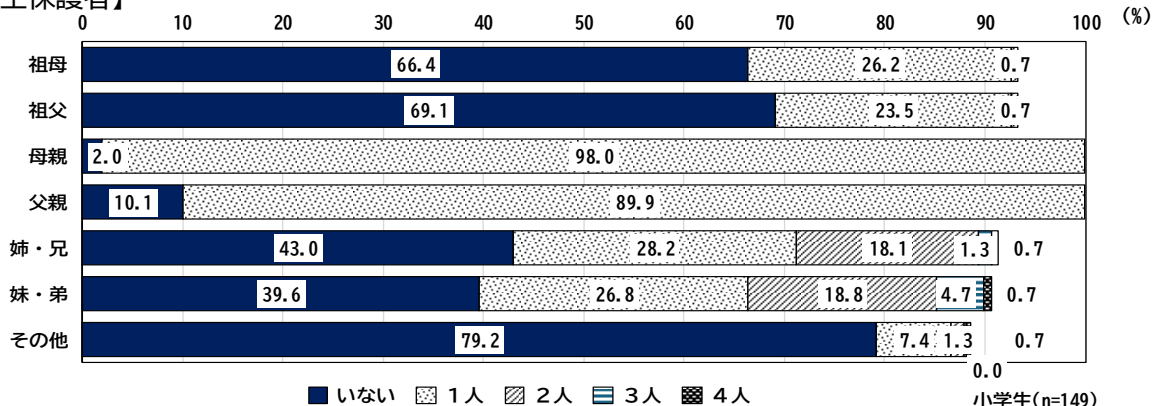


2 家族構成

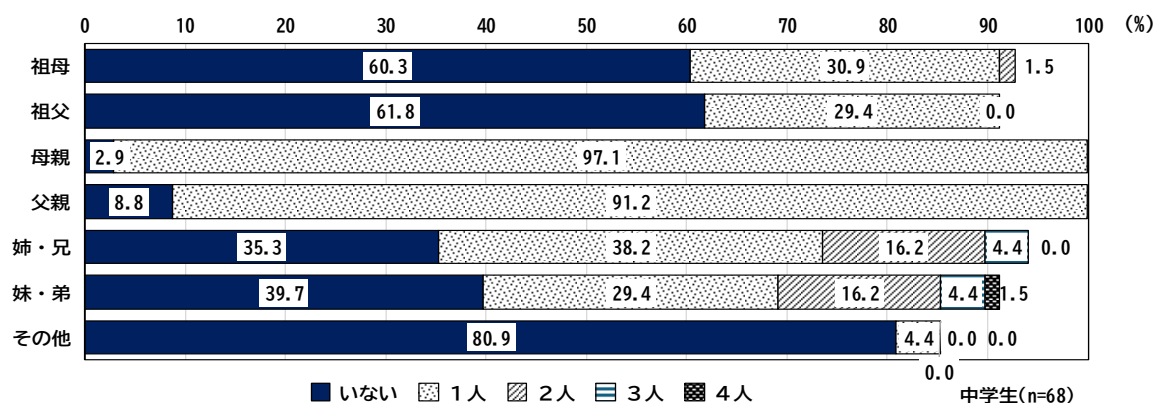
家族構成は、以下の通りです。

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。（同居者それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

【小学生保護者】

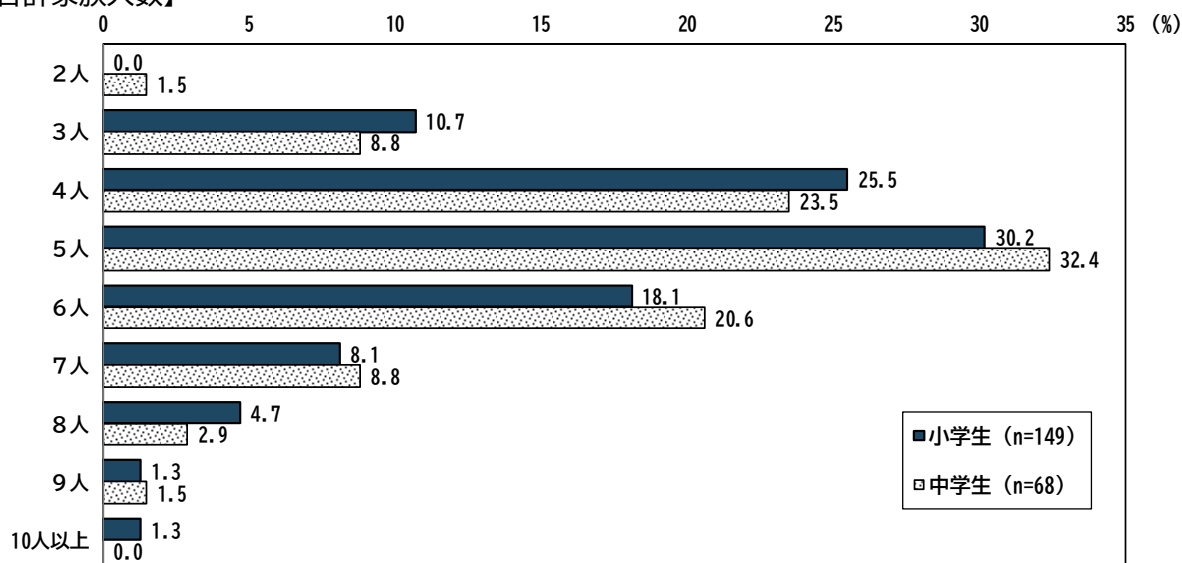


【中学生保護者】



小学生、中学生とも、「5人」（小学生 30.2％：中学生 32.4％）が最も多く、次いで「4人」（小学生 25.5％：中学生 23.5％）、「6人」（小学生 18.1％：中学生 20.6％）となっています。

【合計家族人数】



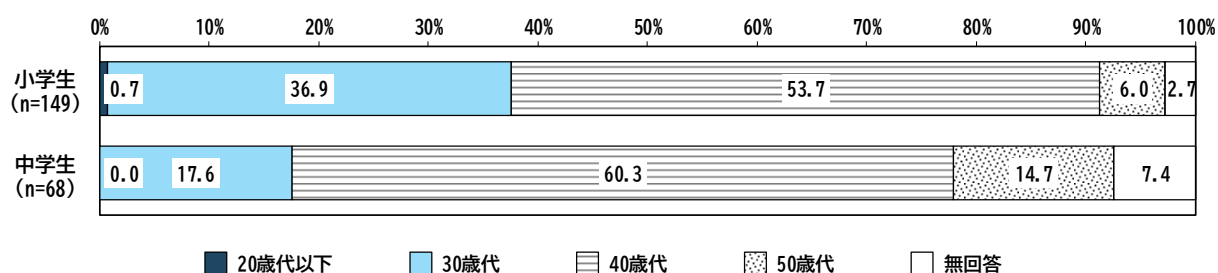
3 母親・父親の年齢

母親の年齢をみると、小学生、中学生とも「40歳代」（小学生 53.7％：中学生 60.3％）と最も多くなっています。次いで、小学生では「30歳代」（36.9％）が多くなっていますが、中学生では「30歳代」（17.6％）と「50歳代」（14.7％）がほぼ同程度となっています。

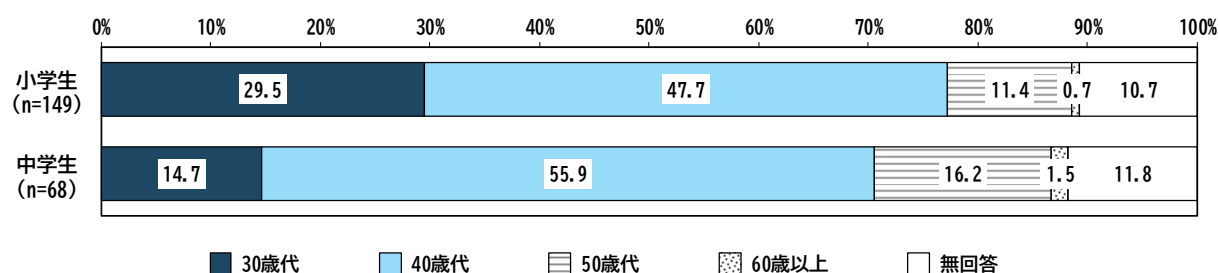
父親の年齢構成も、母親の年齢構成とほぼ同様の傾向となっています。

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。（母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「－」と記入）

【母親年齢】



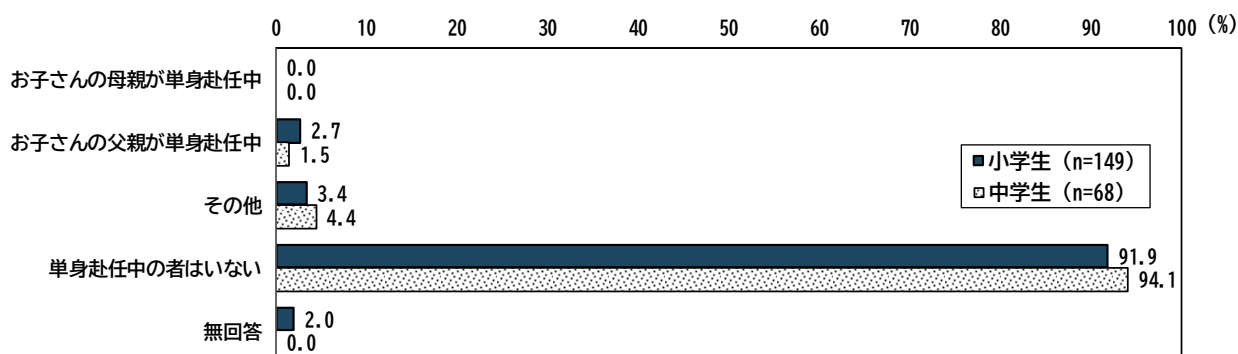
【父親年齢】



4 単身赴任中の家族

「単身赴任中の者はいない」が小学生 91.9%、中学生 94.1%、「お子さんの父親が単身赴任中」が小学生 2.7%、中学生 1.5%となっています。

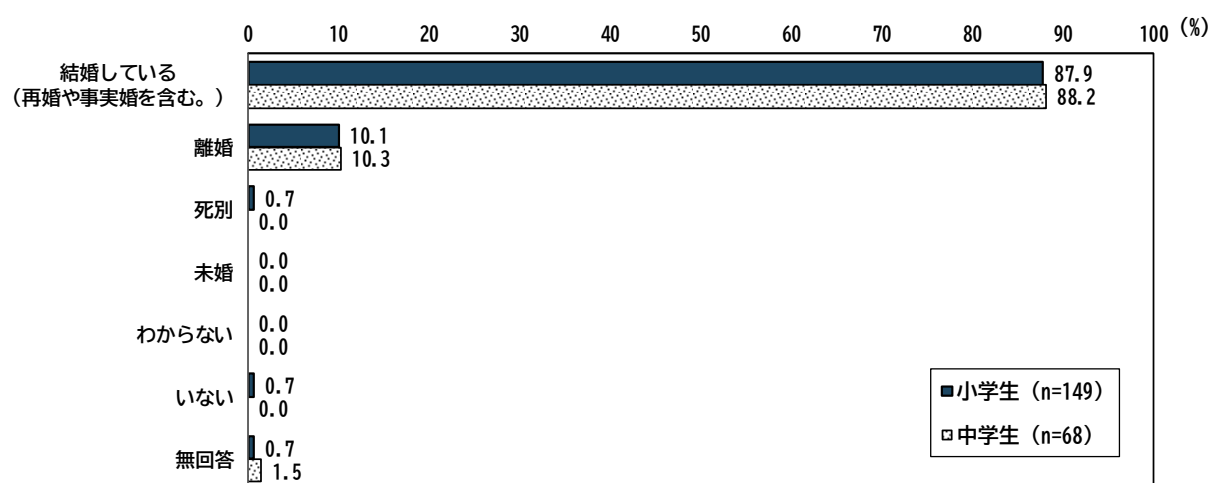
問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(あてはまるものすべてに○)



5 親の婚姻状況

「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」が小学生 87.9%、中学生 88.2%、「離婚」が小学生 10.1%、中学生 10.3%となっています。

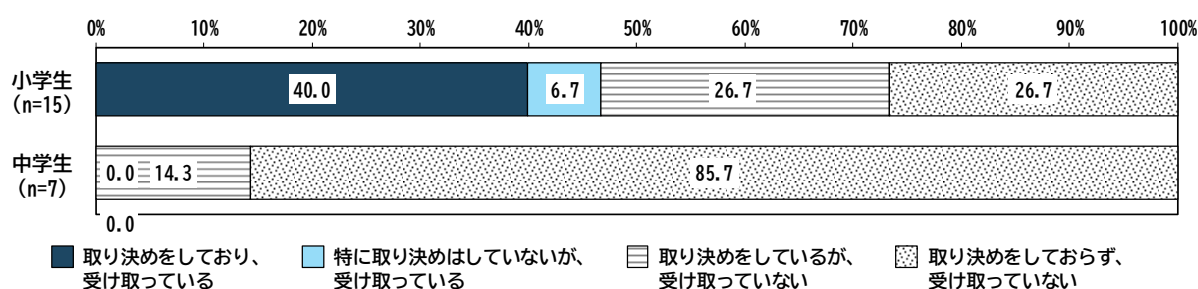
問6 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)



6 離婚相手と子供の養育費の取り決めの有無

「取り決めでしており、受け取っている」が小学生では40.0%ですが、中学生ではありません。その分「取り決めでしておらず、受け取っていない」が85.7%と多くなっています。

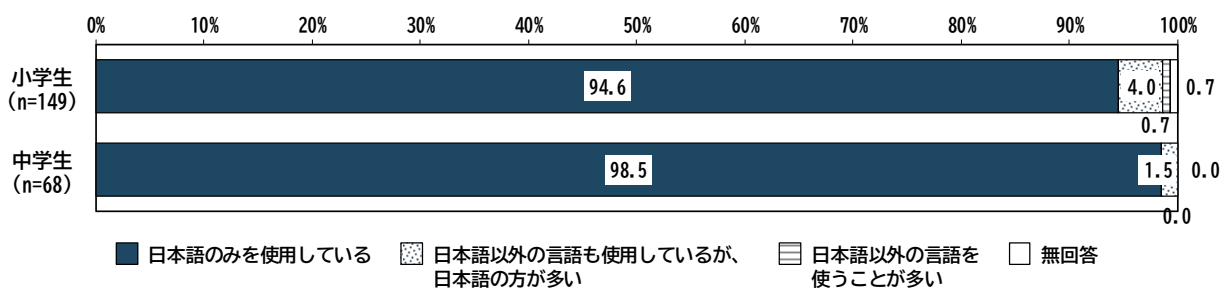
問7 前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)



7 家庭での日本語以外の言語の使用状況

「日本語のみを使用している」が小学生94.6%、中学生98.5%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が小学生4.0%、中学生1.5%となっており、「日本語以外の言語を使うことが多い」は小学生0.7%、中学生ではひとりもいません。

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)



8 親の最終学歴

母親の最終学歴は、以下のようになっています。

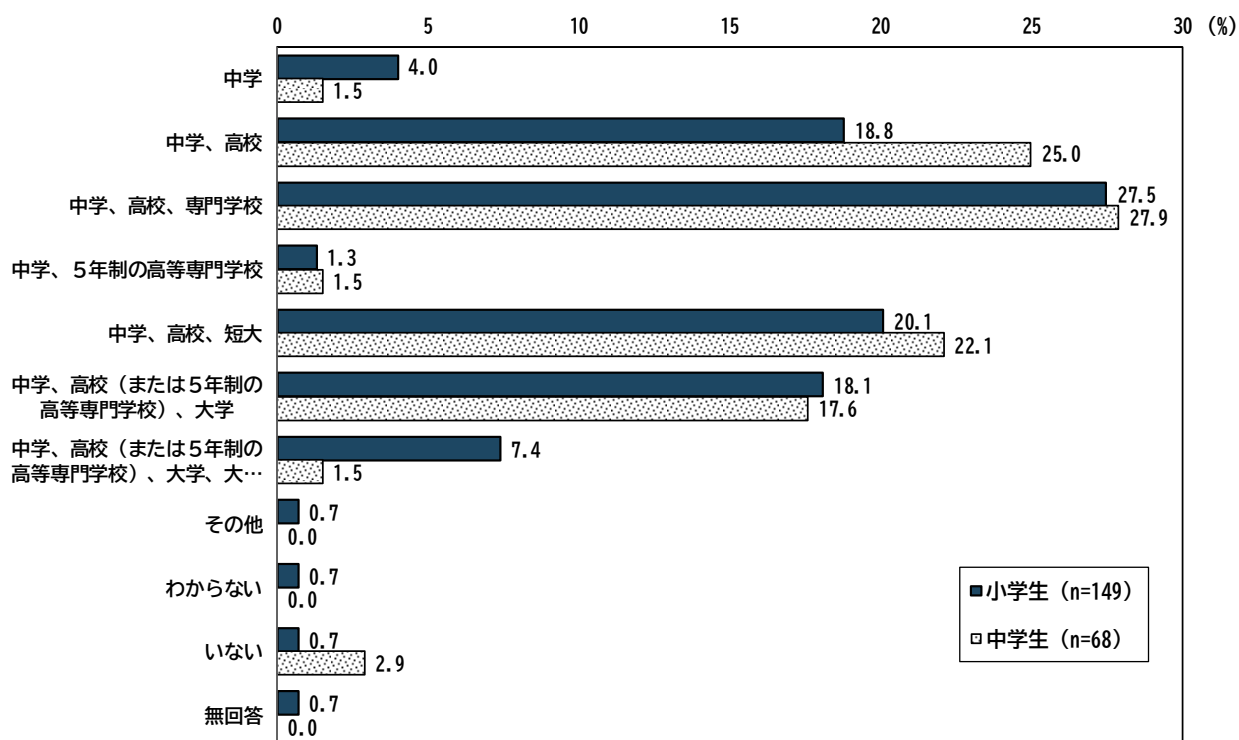
【母親の最終学歴】

小学生	中学生
● 中学、高校、専門学校…………… 27.5%	● 中学、高校、専門学校 …………… 27.9%
● 中学、高校、短大…………… 20.1%	● 中学、高校 …………… 25.0%
● 中学、高校…………… 18.8%	● 中学、高校、短大 …………… 22.1%
● 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、 大学…………… 18.1%	● 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、 大学 …………… 17.6%

※10%以上

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

【母親】



父親の最終学歴は、以下のようになっています。

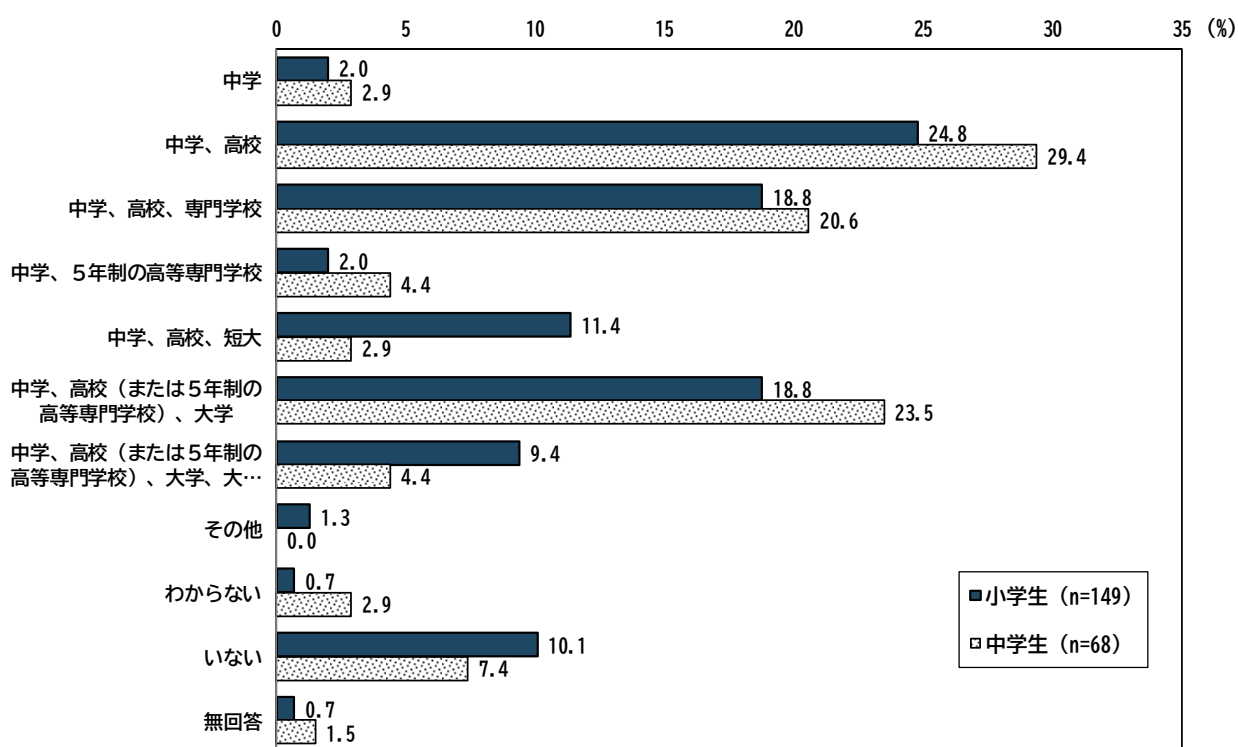
【父親の最終学歴】

小学生	中学生
● 中学、高校…………… 24.8% ● 中学、高校、専門学校…………… 18.8% ● 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学…………… 18.8% ● 中学、高校、短大…………… 11.4%	● 中学、高校…………… 29.4% ● 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学…………… 23.5% ● 中学、高校、専門学校…………… 20.6%

※10%以上

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

【父親】



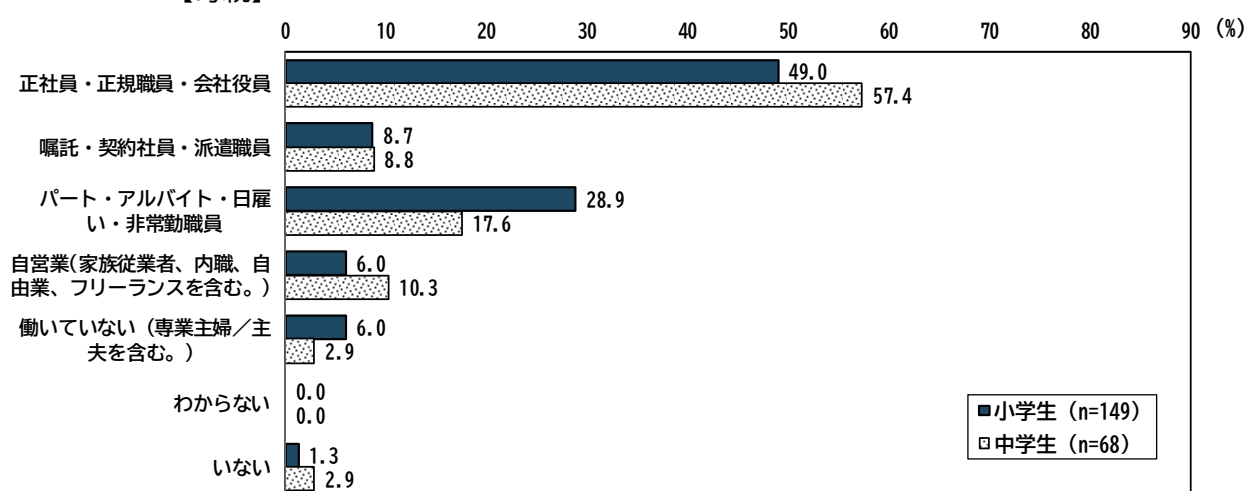
9 親の就労状況

母親では、「正社員・正規職員・会社役員」が小学生で 49.0%、中学生で 57.4%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が小学生で 28.9%、中学生で 17.6%となっています。

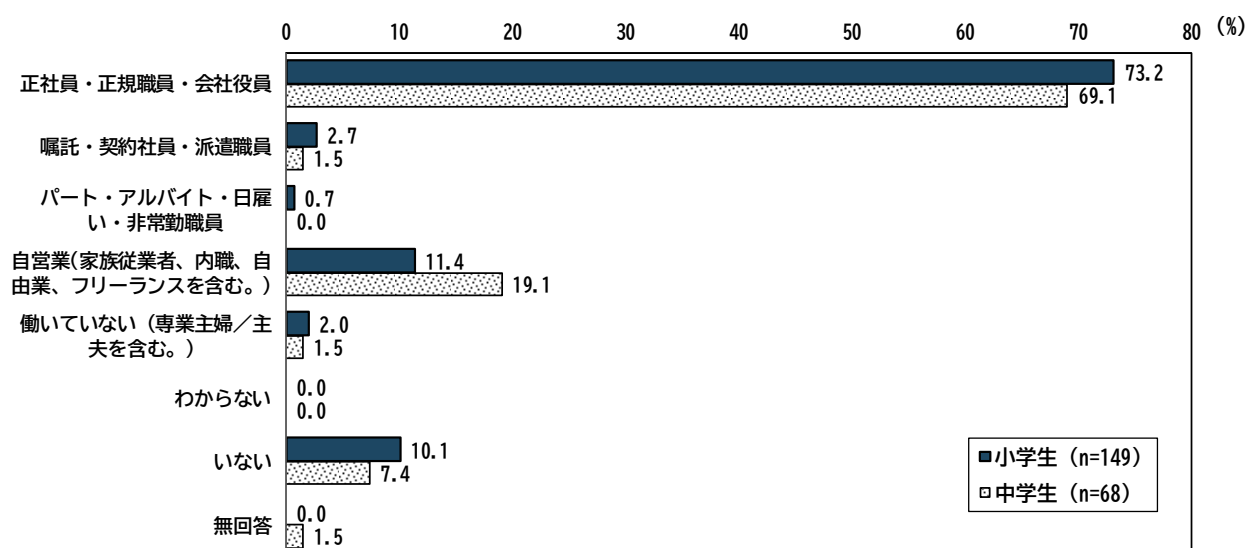
父親では、「正社員・正規職員・会社役員」が小学生で 78.2%、中学生で 69.1%と多くなっていますが、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」も小学生 11.4%、中学生で 17.6%みられます。

問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。
(あてはまるもの1つに○)

【母親】



【父親】

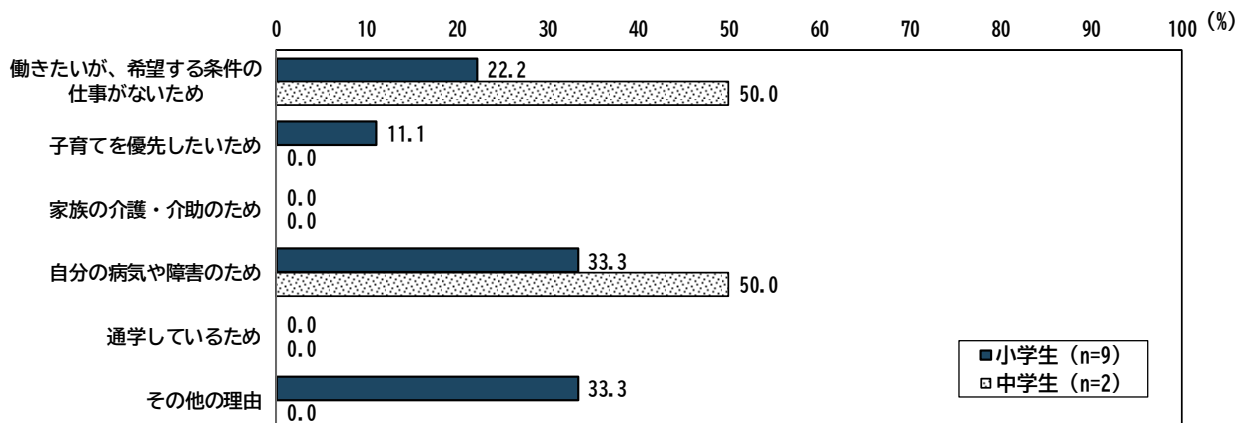


10 親が就労していない理由

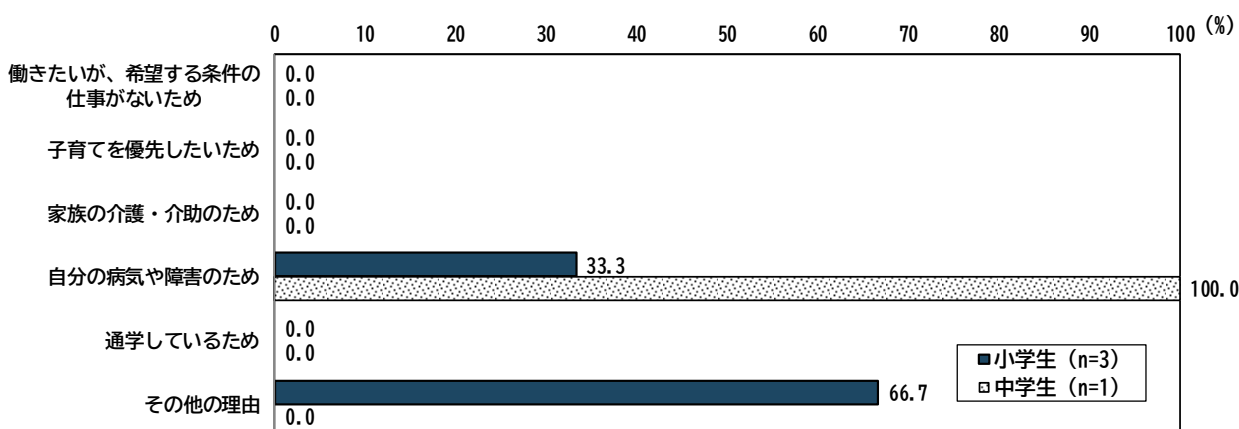
母親、父親が就労していない理由は、下図に示すとおりです。

問 11 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

【母親】



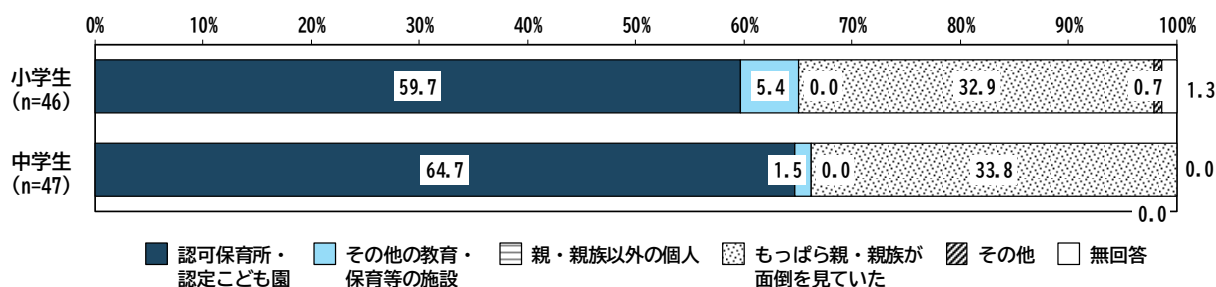
【父親】



11 子供が0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの

「認可保育所・認定こども園」が小学生 59.7%、中学生 64.7%と最も多く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」(小学生 32.9%:中学生 33.8%)、「その他の教育・保育等の施設」(小学生 5.4%:中学生 1.5%)となっています

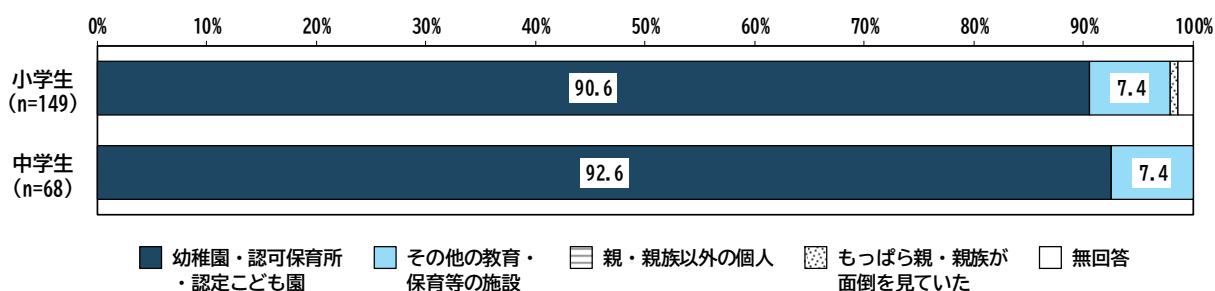
問 12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）



12 子供が3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの

「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が小学生 90.6%、中学生 92.6%とほとんどを占めています。

問 13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）



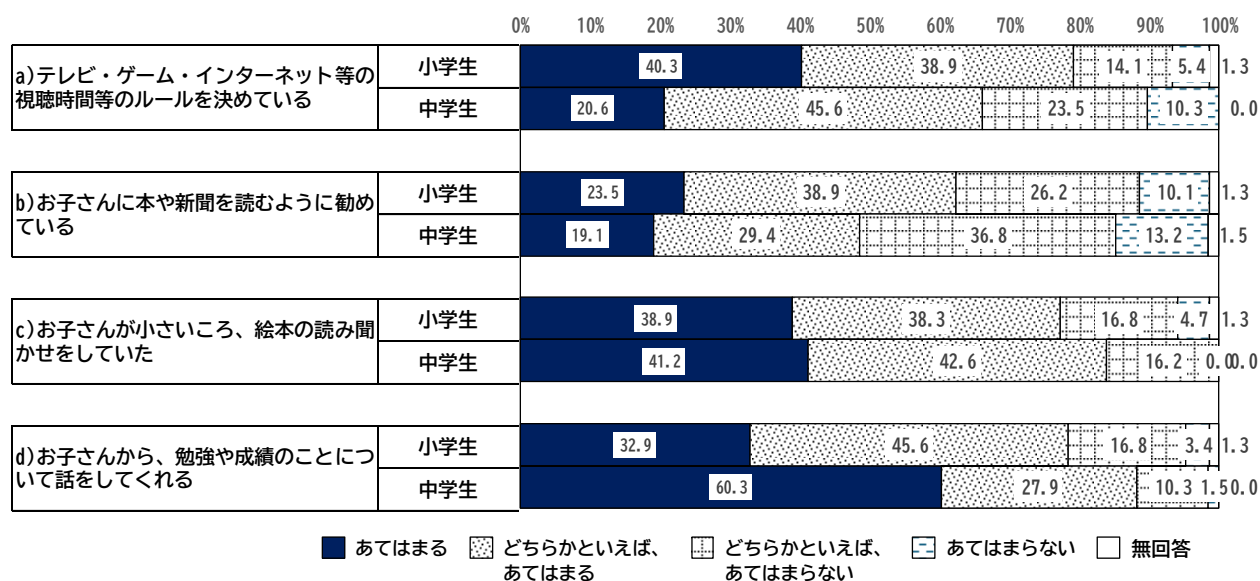
※「親・親族以外の個人」「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」「無回答」は比率が小さいため表示しない。

13 子供との関わり方

『あてはまる』(=「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」)の割合をみると、『a)テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』(小学生 79.2%：中学生 66.2%)、『b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている』(小学生 62.4%：中学生 48.5%)は小学生の方が多くなっています。

一方、『d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる』(小学生 78.5%：中学生 88.2%)、『c)お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』(小学生 77.2%：中学生 83.8%)は、中学生の方が多くなっています。

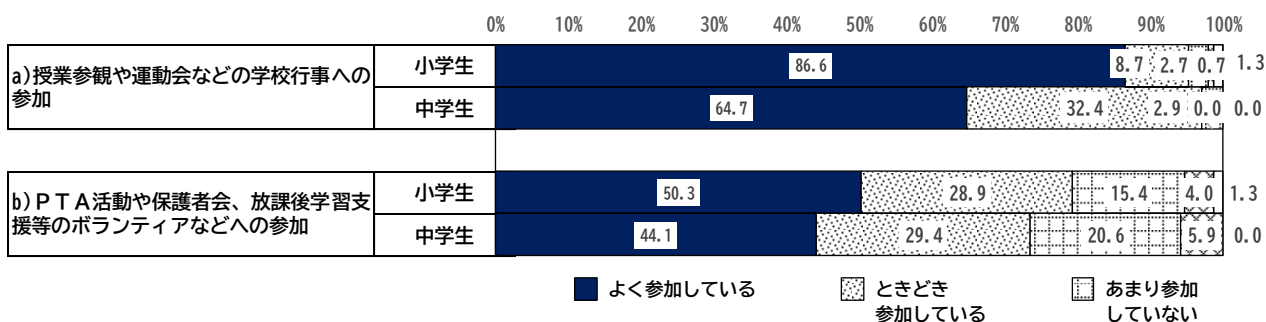
問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)



14 学校との関わり・参加

「よく参加している」は、『a)授業参観や運動会などの学校行事への参加』では小学生では 86.6%ですが、中学生では 64.7%と少なくなっており、『b)PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加』でも小学生 50.3%ですが、中学生 44.1%と少なくなっています。

問 15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

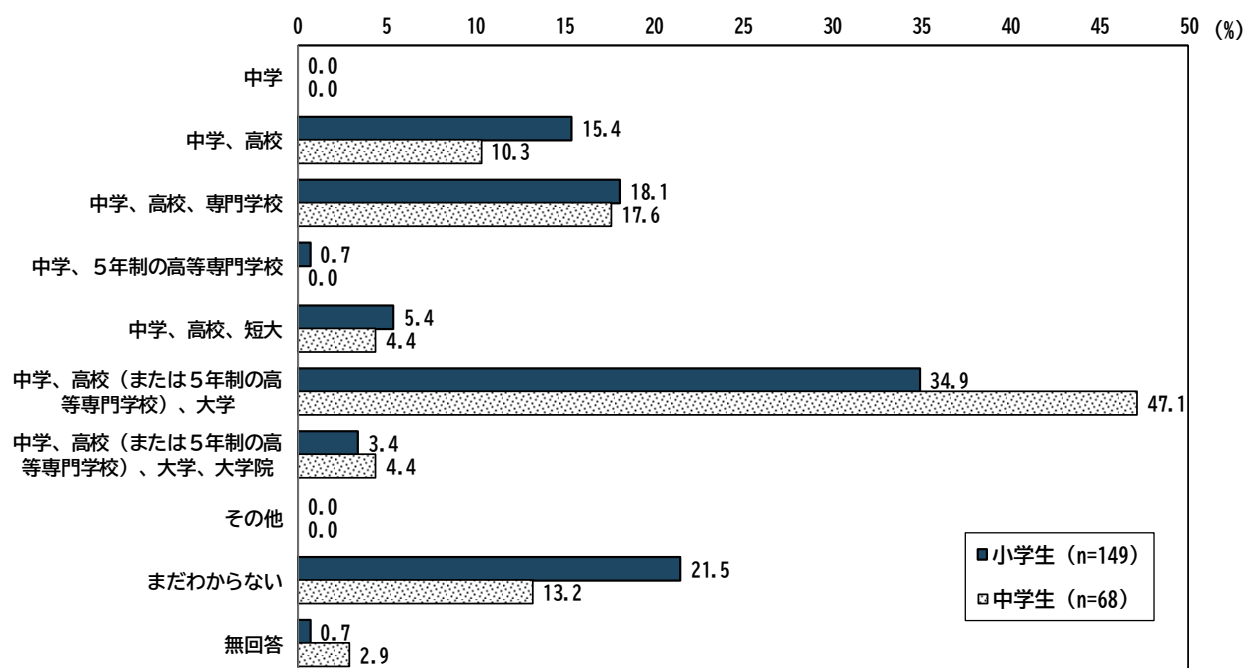


15 子供の将来の進学先

「まだわからない」が小学生で21.5%、中学生で13.2%いるものの、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が小学生34.9%、中学生47.1%と最も多くなっています。次いで「中学、高校、専門学校」（小学生18.1%、中学生17.6%）、「中学、高校」（小学生15.4%、中学生10.3%）となっています。

問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

（あてはまるもの1つに○）

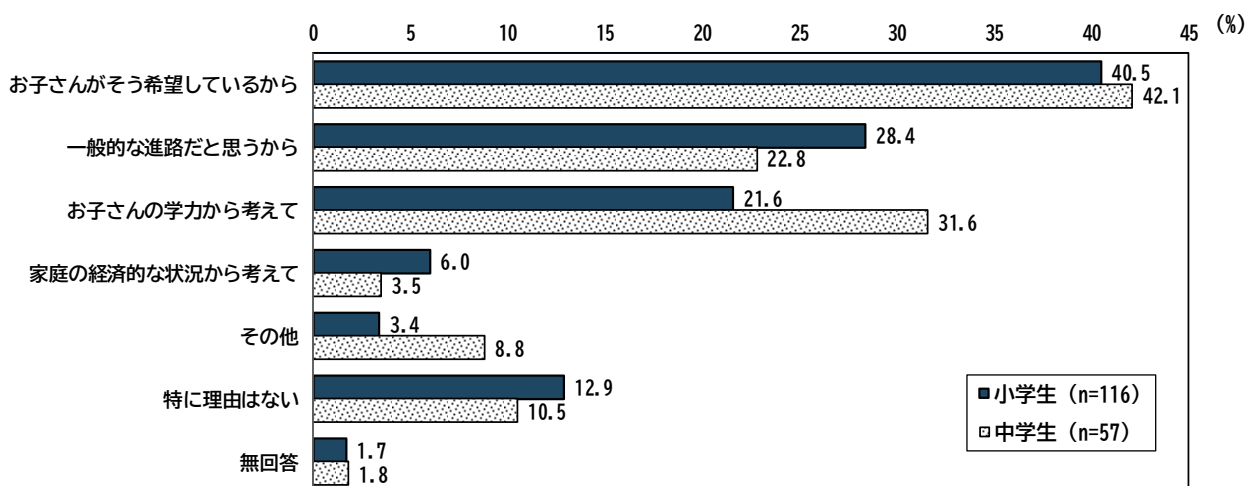


16 進学する理由

「お子さんがそう希望しているから」が小学生40.5%、中学生42.1%と最も多くなっています。次いで小学生では「一般的な進路だと思うから」（28.4%）、中学生では「お子さんの学力から考えて」（31.6%）となっています。

問 17 前問で「まだわからない」以外に答えた場合、その理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

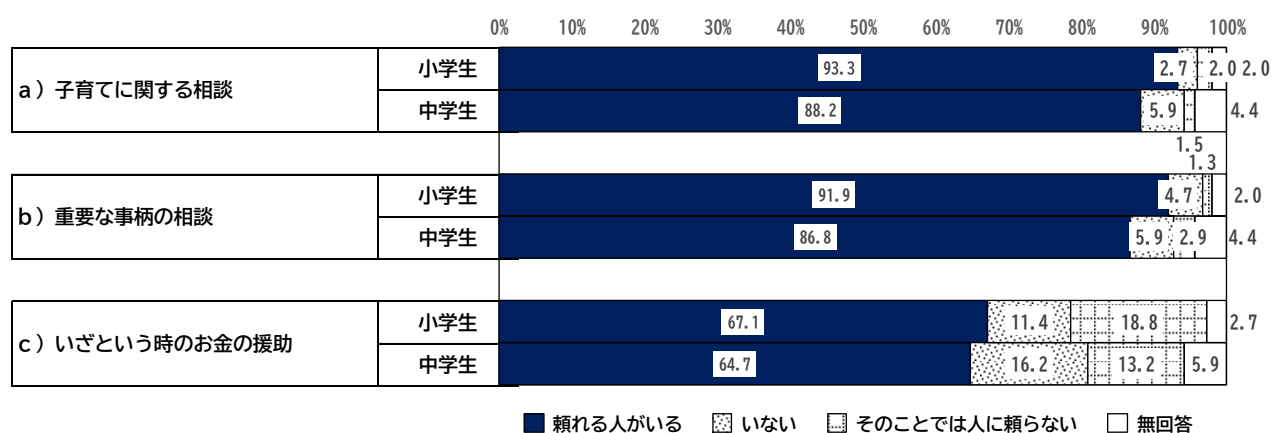


17 頼れる人の有無・相手

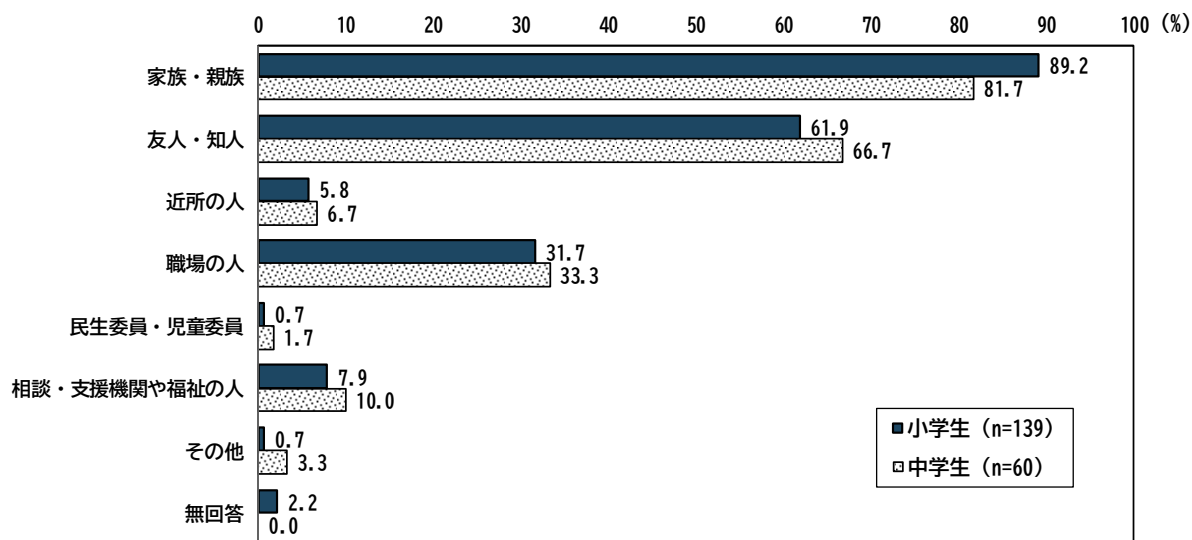
『a) 子育てに関する相談』や『b) 重要な事柄の相談』では小学生、中学生とも8～9割が「頼れる人がある」としていますが、『c) いざという時のお金の援助』では6割台と少なくなっています。

頼れる人についてみると、3つのケースに共通して多いのは、「家族・親族」で、いずれの場合でも8～9割となっています。加えて、『a) 子育てに関する相談』では「友人・知人」や「職場の人」、『b) 重要な事柄の相談』では「友人・知人」も頼れる人として多くあげられています。

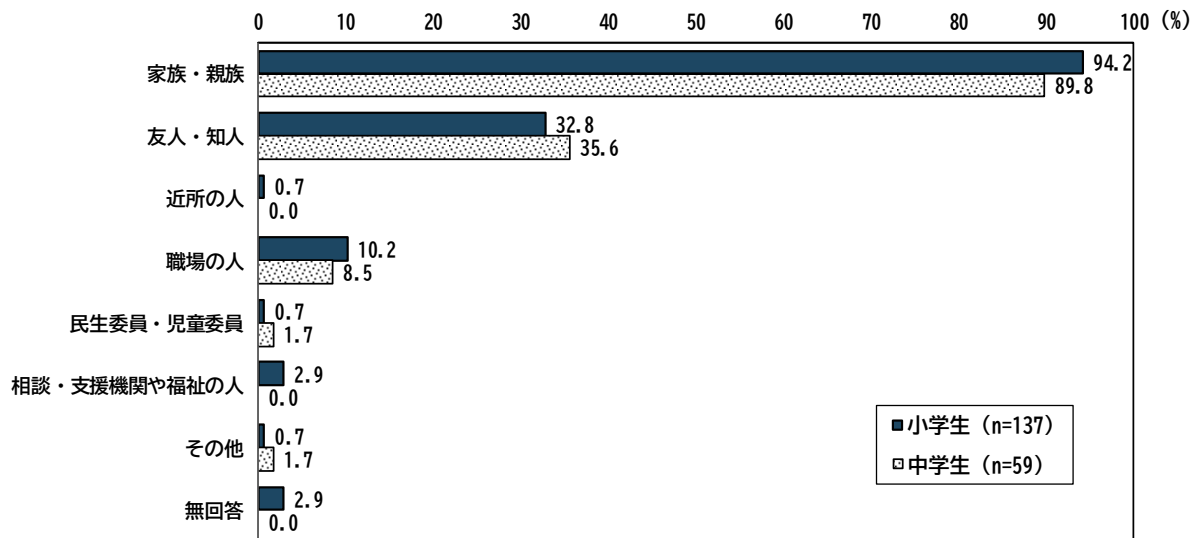
問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～c それぞれについて、「頼れる人がある」「いない」「そのことでは人に頼らない」のあてはまるもの1つに○)
また、「頼れる人がある」場合、それはだれですか。(あてはまるものすべてに○)



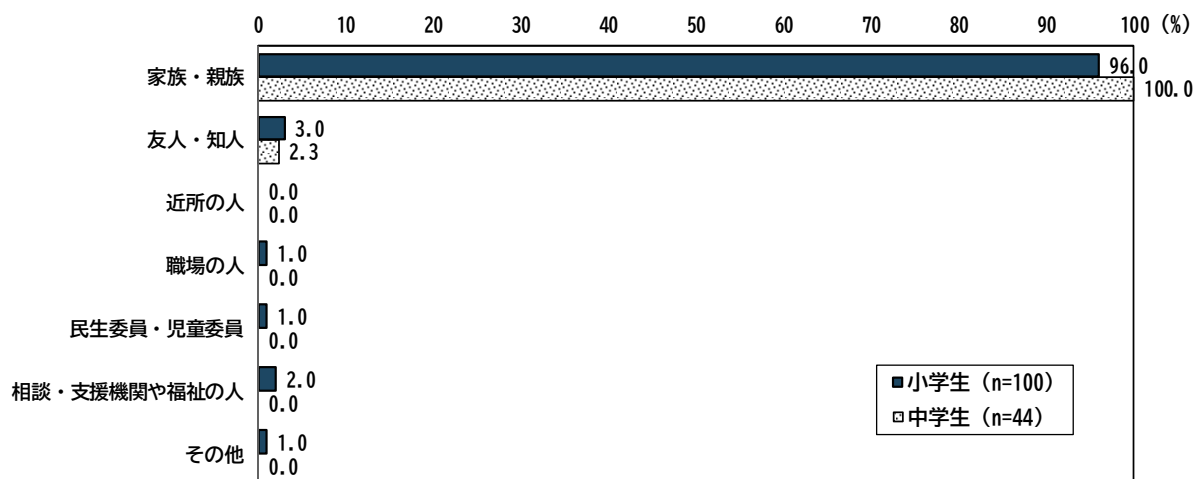
【子育てに関する相談が頼れる人】



【重要な事柄の相談が頼れる人】



【いざという時のお金の援助が頼れる人】

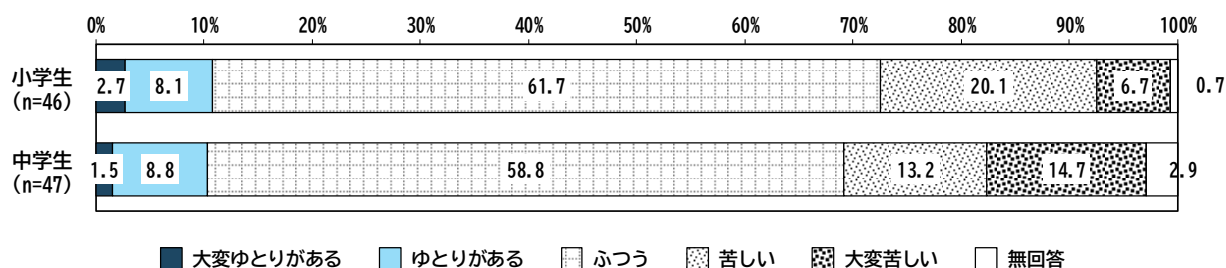


18 現在の暮らしの状況

「ふつう」が小学生（61.7%）、中学生（58.8%）では6割前後を占めていますが、『ゆとりがある』（＝「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）は小学生10.8%、中学生10.3%で、『苦しい』（＝「苦しい」＋「大変苦しい」）が小学生26.8%、中学生27.9%と多くなっています。

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

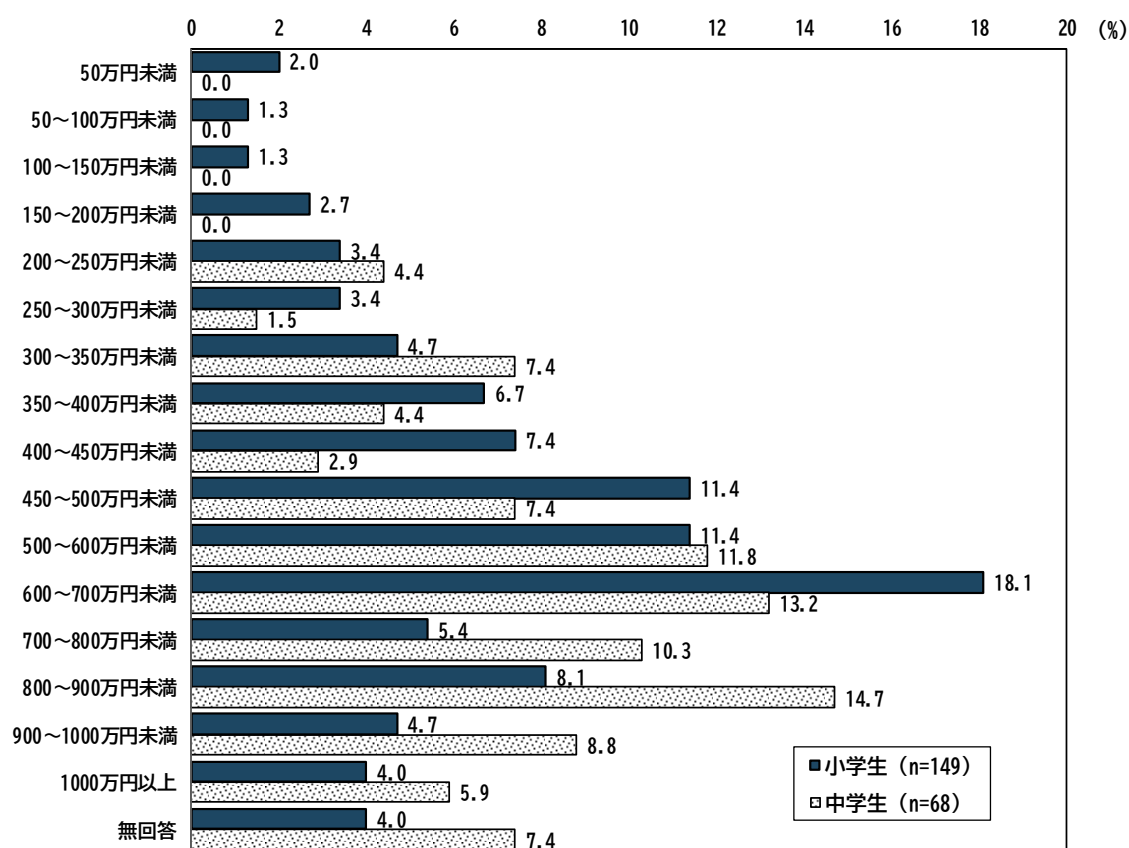
（あてはまるもの1つに○）



19 世帯全体のおおよその年間収入

年間収入としては、小学生では「600～700 万円」が18.1%、中学生では「800～900 万円」が14.7%と最も多くなっています。

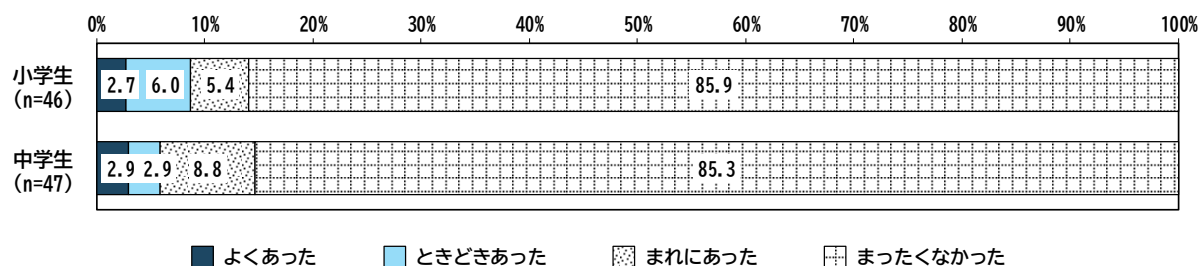
問 20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）



20 過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないこと

『あった』(=「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)は、小学生14.1%、中学生14.6%となっています。

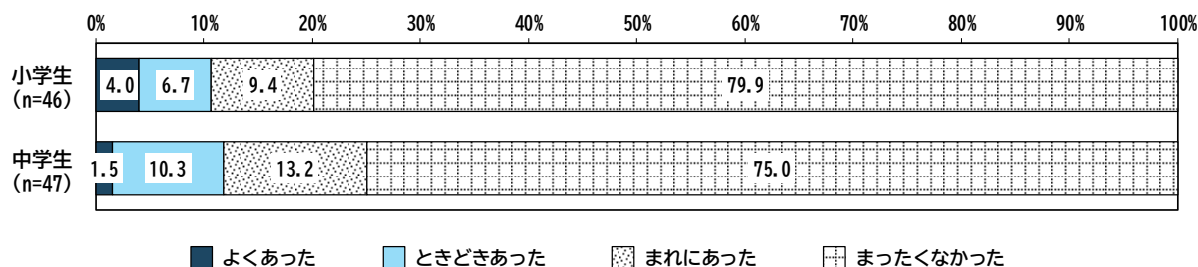
問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)



21 過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないこと

『あった』(=「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」)は、小学生20.1%、中学生25.0%となっています。

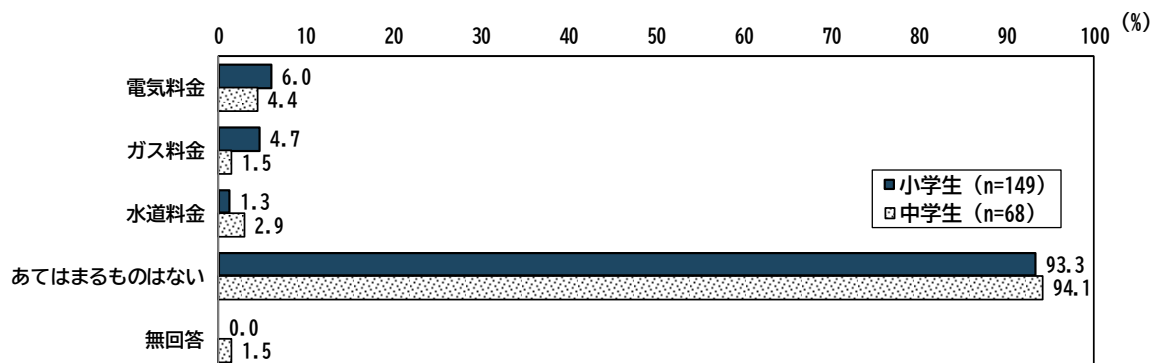
問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)



22 過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったこと

「あてはまるものはない」が、小学生、中学生とも9割を占めています。

問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

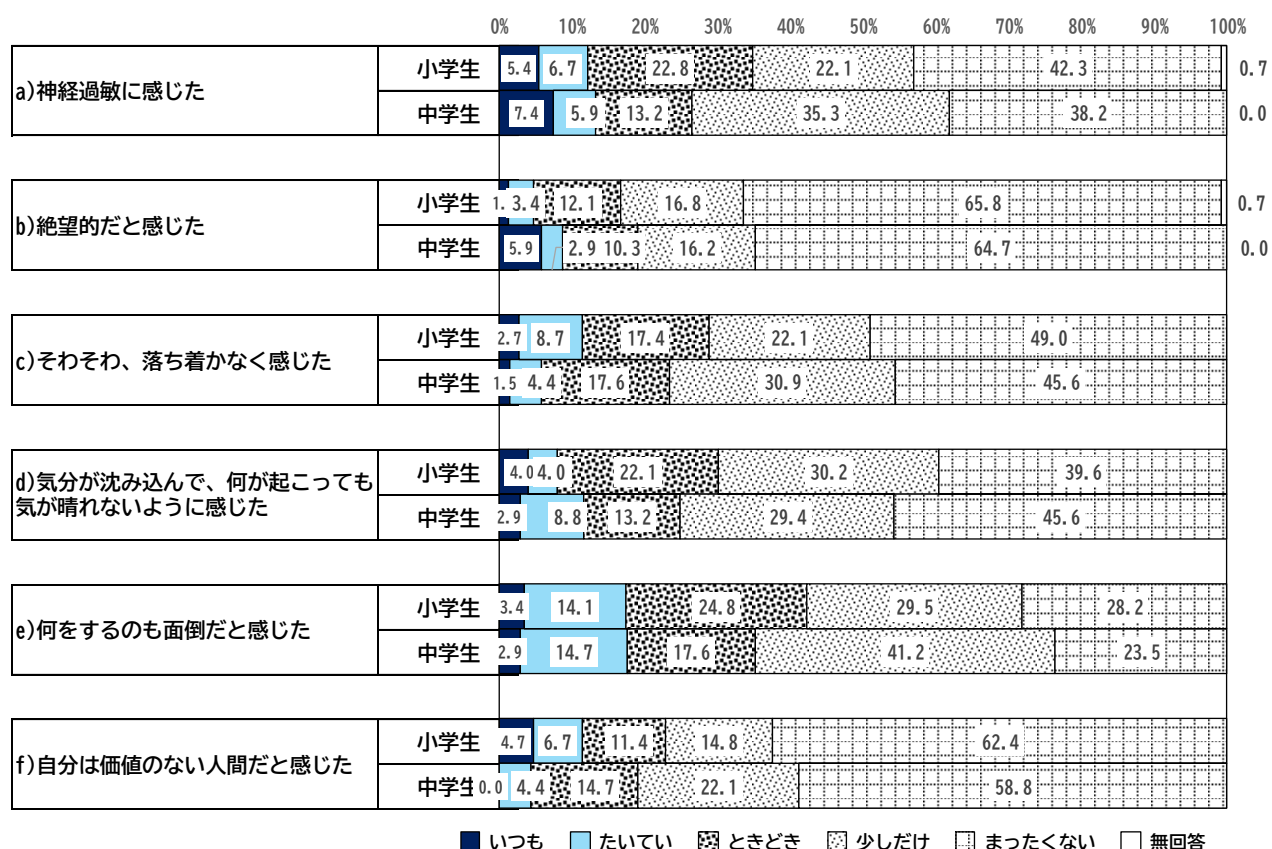


23 心理的な状態

気持ちを抱く割合（「いつも」＋「たいてい」＋「ときどき」＋「すこしだけ」）を多い順に並べる、以下のようになります。

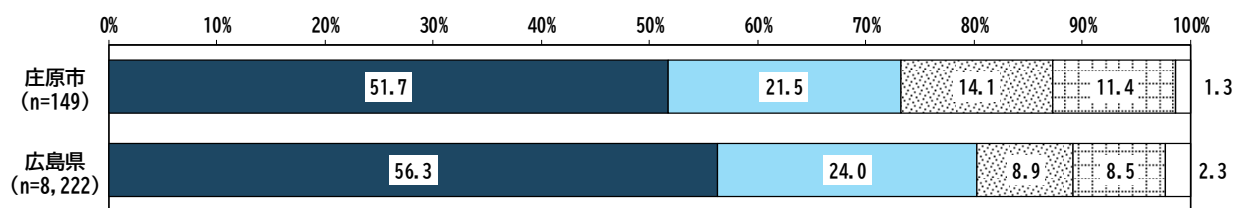
小学生	中学生
- e)何をするのも面倒だと感じた …… 71.8% - d)気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた …… 60.3% - a)神経過敏に感じた …… 57.0% - c)そろそろ、落ち着かなく感じた … 50.9% - f)自分は価値のない人間だと感じた 37.6% - b)絶望的だと感じた …… 33.6%	- e)何をするのも面倒だと感じた …… 76.4% - a)神経過敏に感じた …… 61.8% - c)そろそろ、落ち着かなく感じた … 54.4% - d)気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた …… 54.3% - f)自分は価値のない人間だと感じた・41.2% - b)絶望的だと感じた …… 35.3%

問 24 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。
(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

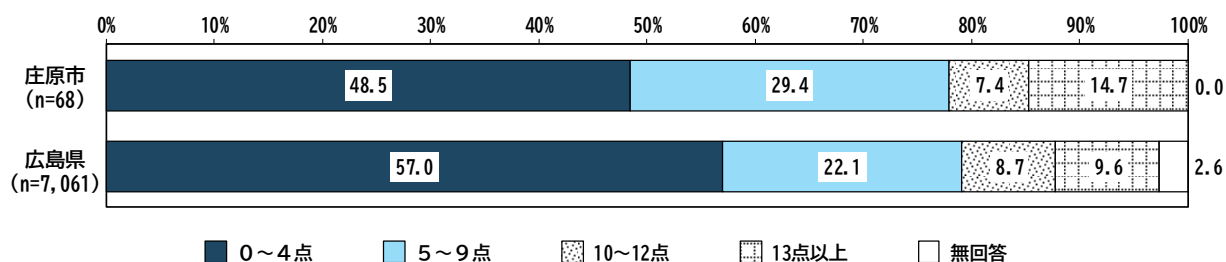


うつ・不安障害相当とされる13点以上の割合は、小学生で14.1%（広島県平均8.5%）、中学生で8.9%（広島県平均9.6%）となっています。

【小学生】



【中学生】



《広島県子供の生活に関する実態調査報告書 令和6年3月》（P98より）

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定した。採点方法は、1つの質問ごとに0点（「5 まったくない」）から4点（「1 いつも」）を振り、0点から24点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

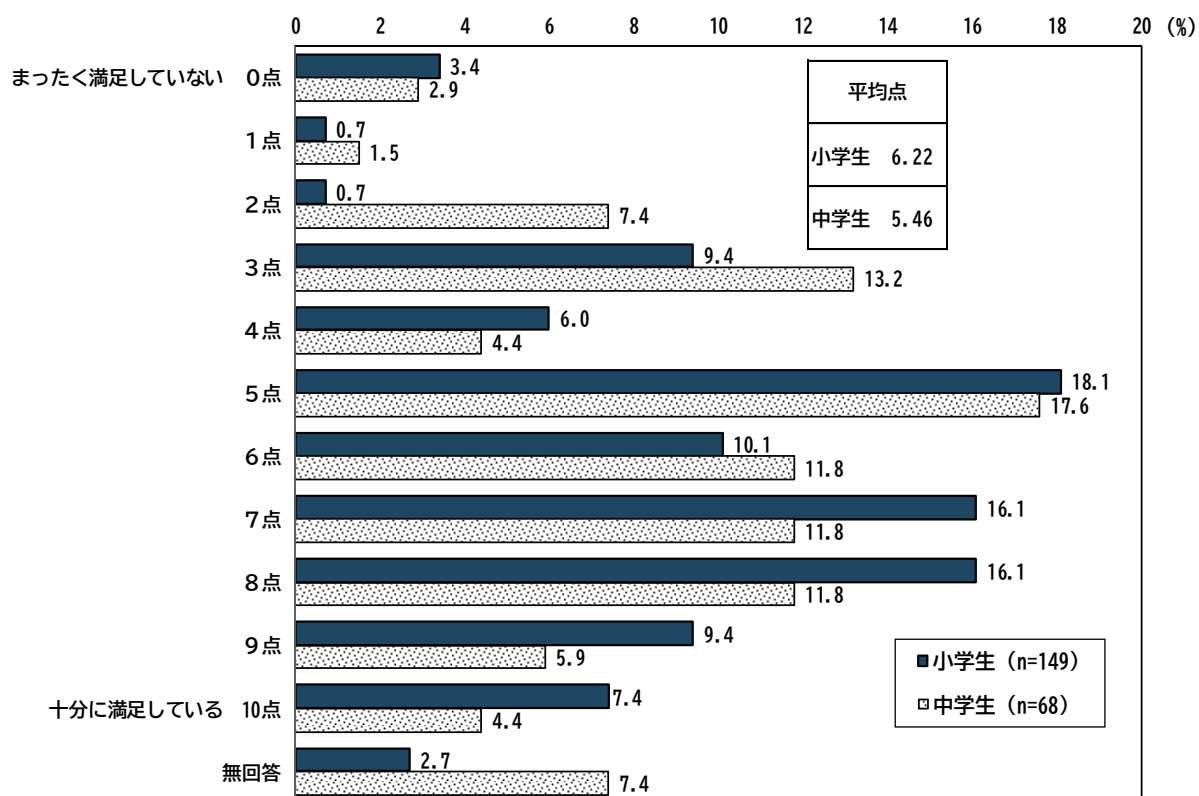
13点以上が「うつ・不安障害相当」とされている。

24 最近の生活の満足度

小学生では「5点」が18.1%と最も多く、次いで「7点」と「8点」が各16.1%となっており、平均点は6.22（広島県平均6.38）となっています。

中学生では「5点」が17.6%と最も多く、次いで「3点」が13.2%、「7点」と「8点」（各11.8%）となっており、平均点は5.46（広島県平均6.26）と小学生に比べて低くなっています。

問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。
（あてはまるもの1つに○）

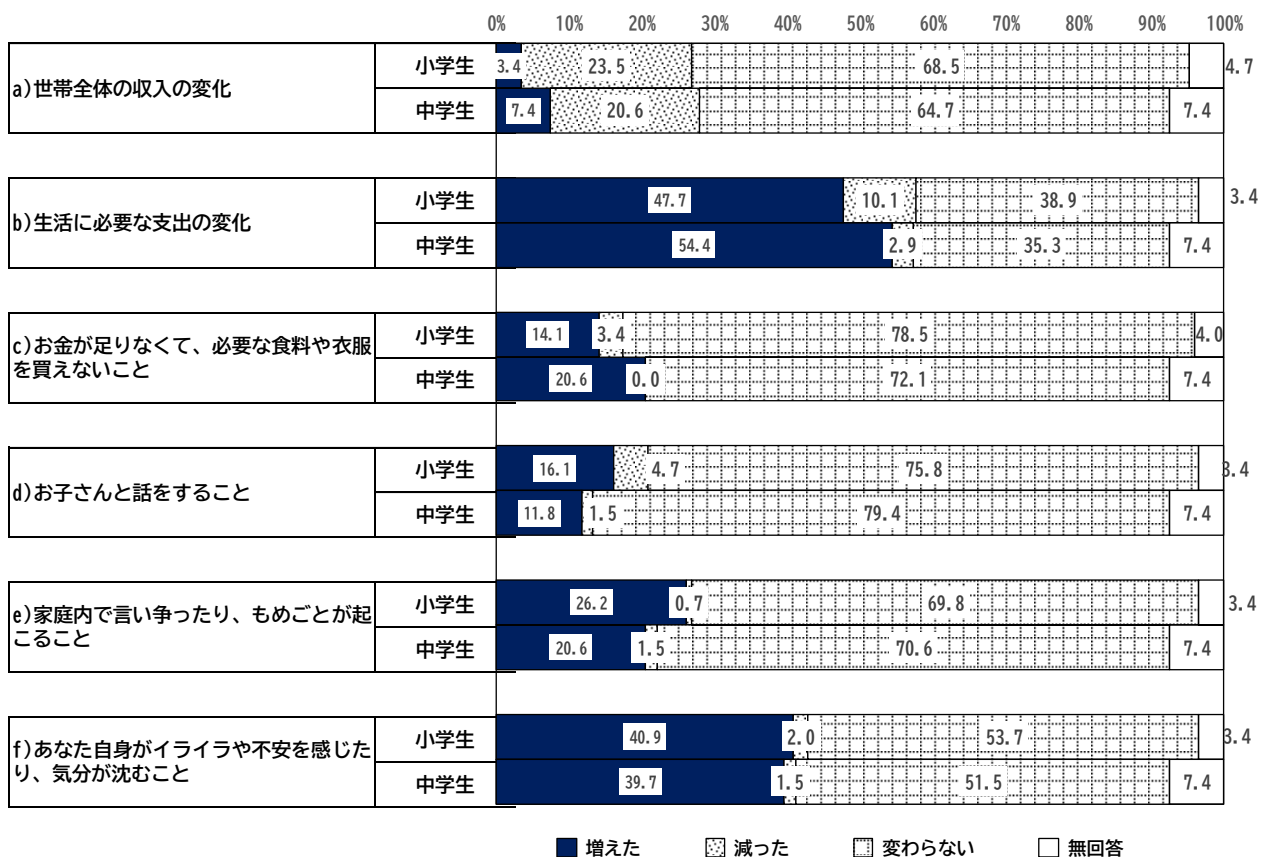


25 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大期間中を比べた変化

「増えた」のは、『b)生活に必要な支出の変化』（小学生 47.7%：中学生 54.4%）が半数前後、『f)あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと』（小学生 40.9%：中学生 39.7%）が4割前後と多くなっています。

逆に、『a)世帯全体の収入の変化』は「減った」が小学生 23.5%、中学生 20.6%と多くなっています。

問 26 あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。（a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

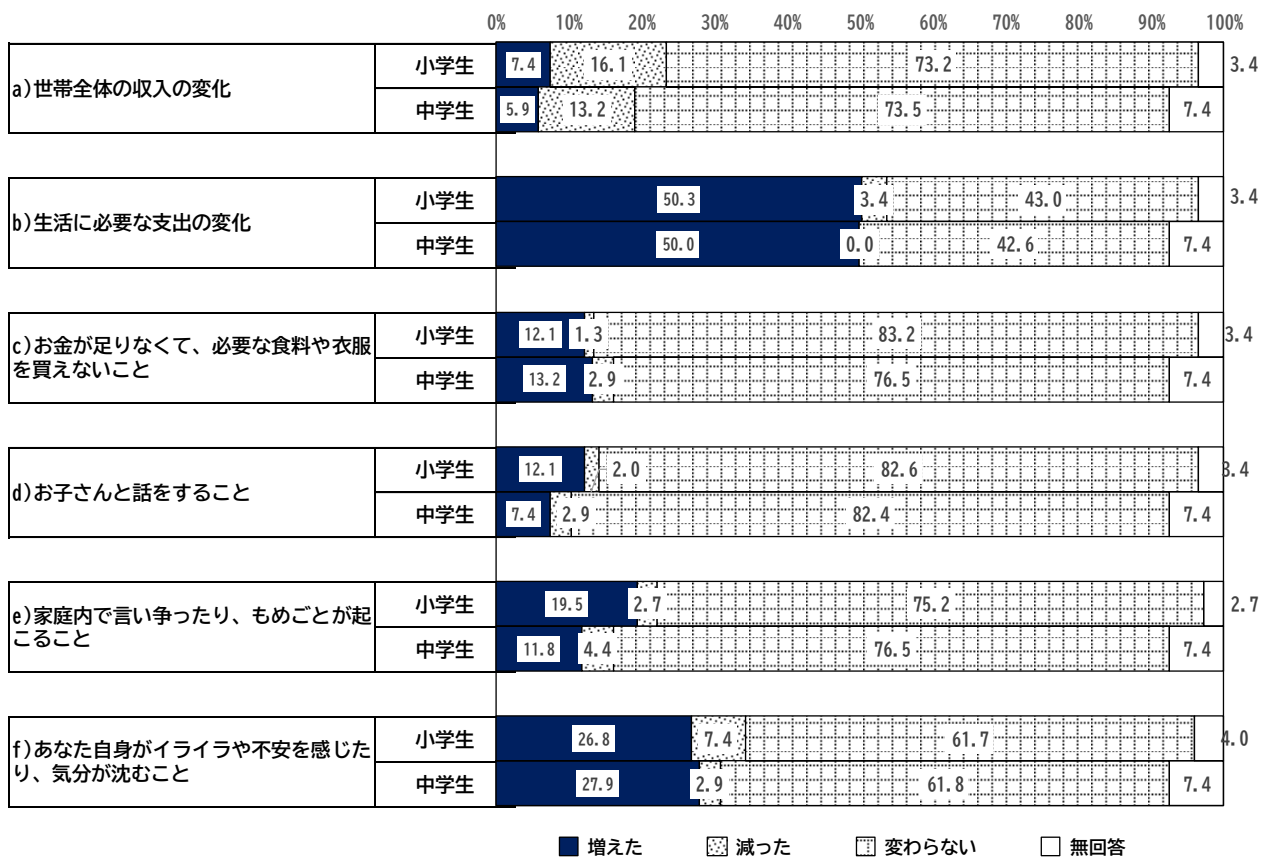


26 新型コロナウイルス感染症の拡大期間中と現在を比べた変化

『b)生活に必要な支出の変化』では、「増えた」が小学生(50.3%)、中学生(50.0%)とも半数あり、『a)世帯全体の収入の変化』については、逆に「減った」(小学生16.1%：中学生13.2%)が多くなっています。

問 27 あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間(2020年から2022年)と現在を比べて、どのように変わりましたか。

(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)



27 支援の利用状況と利用したことがない理由

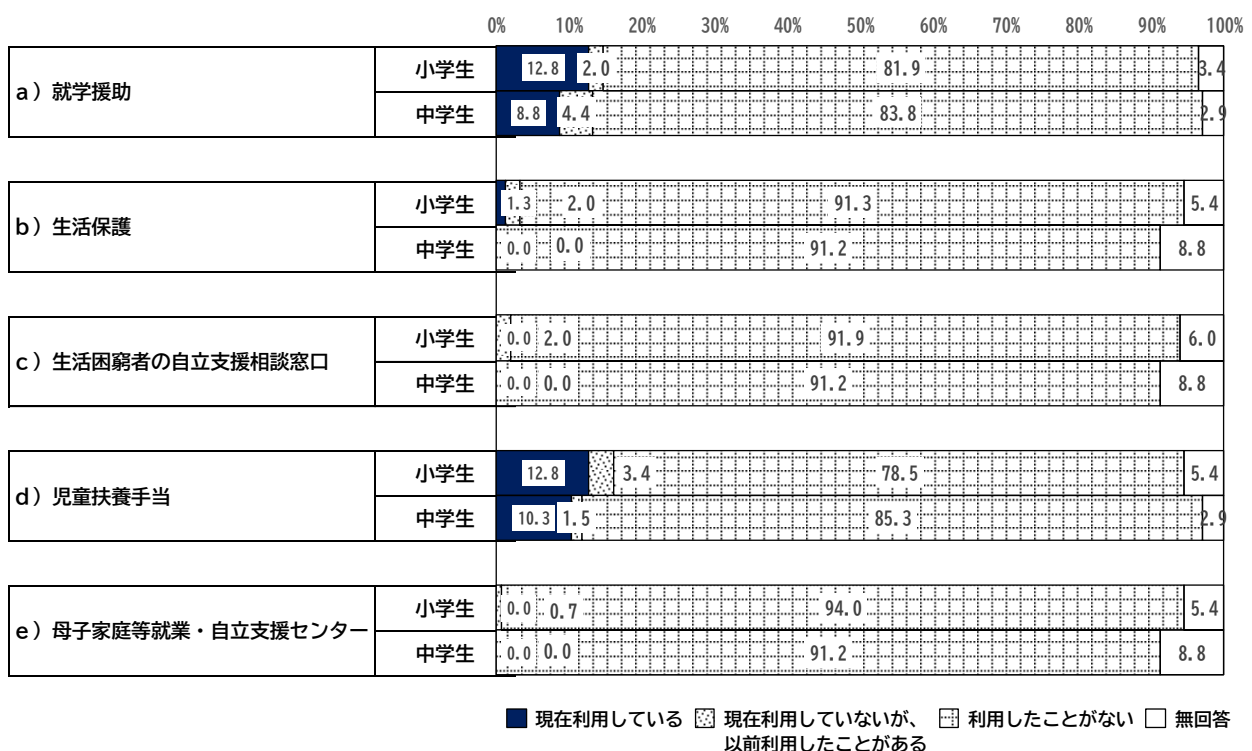
利用したことがある支援制度としては、就学援助と児童扶養手当の2つで、小学校、中学校とも1割程度となっています。

利用したことの無い理由としては、いずれも支援制度についても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も多くなっています。

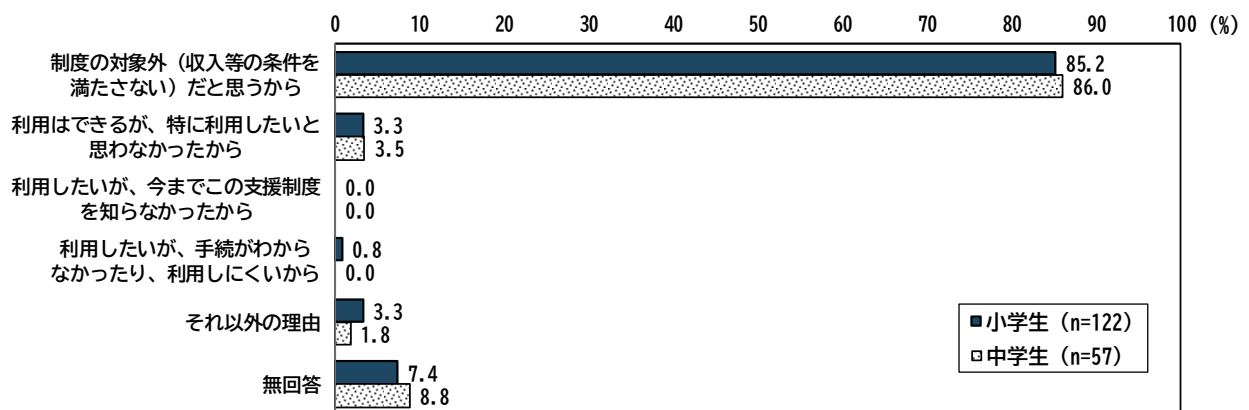
問 28 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

（a～e それぞれについて、「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」「利用したことがない」のあてはまるもの1つに○）

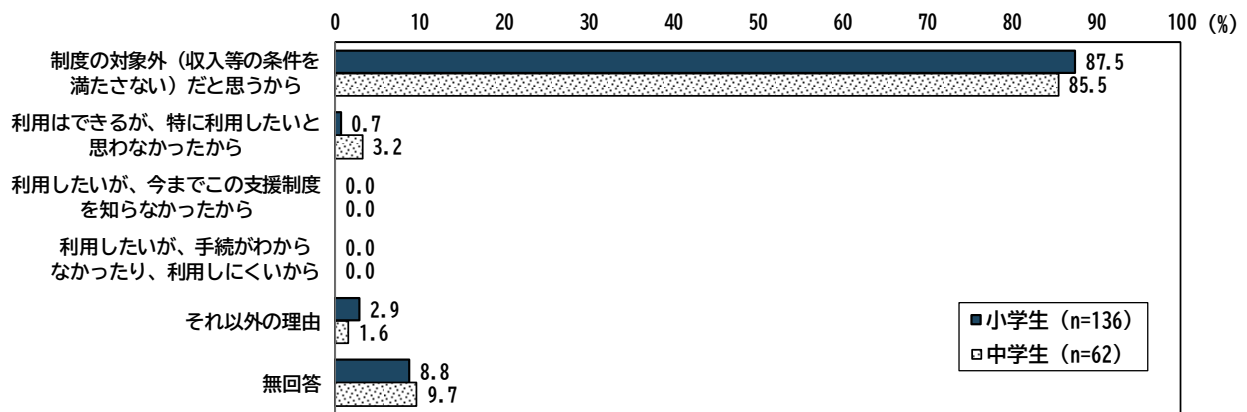
また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（あてはまるもの1つに○）



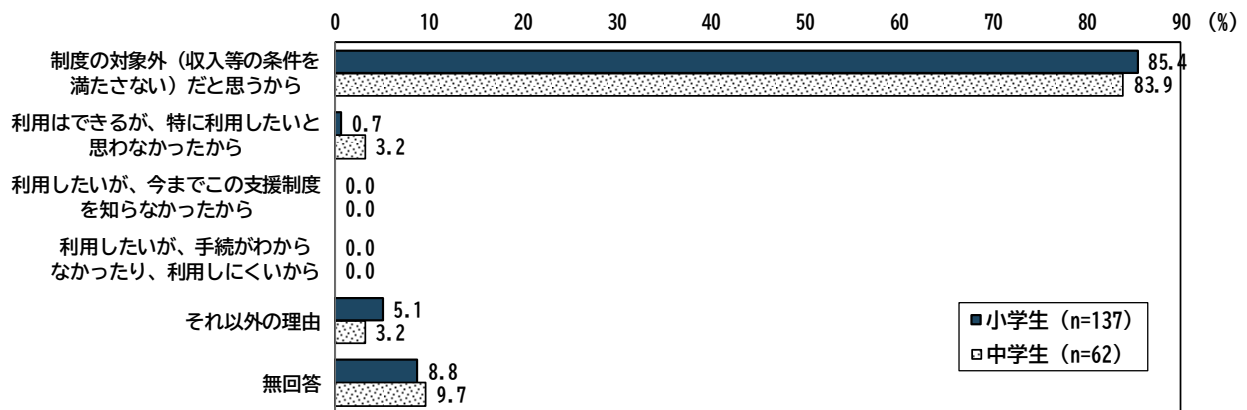
【就学援助を利用しない理由】



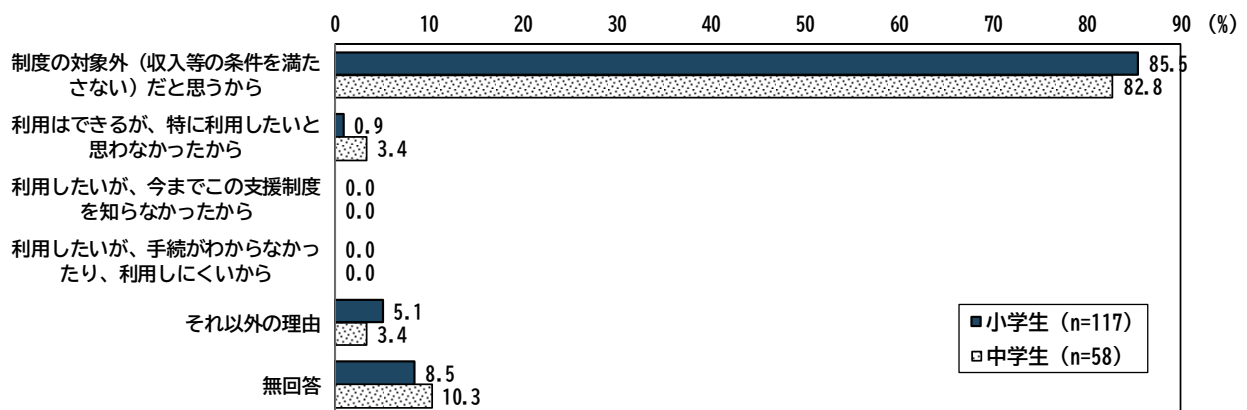
【生活保護を利用しない理由】



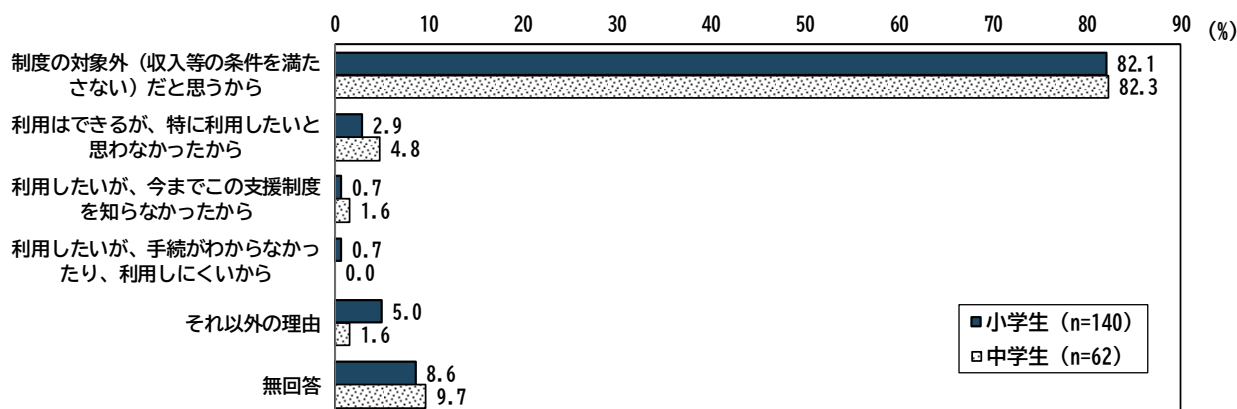
【生活困窮者の自立支援相談窓口を利用しない理由】



【児童扶養手当を利用しない理由】



【母子家庭等就業・自立支援センターを利用しない理由】



28 広島県の子供政策への希望

【小学生のトップ3】

- 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける …… 63.1%
- 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備 …… 51.0%
- 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実 …… 30.2%

【中学生のトップ3】

- 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける …… 69.1%
- 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備 …… 50.0%
- 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保 …… 25.0%

問 29 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。
(あてはまるもの上位3つまでに○)

